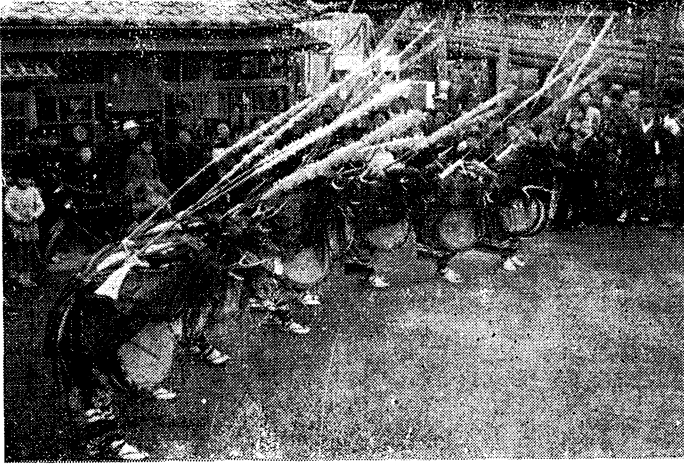


統計茨城

1958. 11
12

目次

昭和33年度学校衛生統計調査速報	3
〃 商業統計調査速報	5
茨城の映画館	7
全国の映画館	8
産品の鉄道輸送	9
昭和32年の米の集荷	11
「敷石」	12
毎月人口世帯異動調査結果速報	13
毎月勤労統計調査結果速報	17
産動態調査	25
茨城県鉱工業生産指数	37
覽室	39



無形文化財
岩手県の「鹿踊り」

11月22.23の両日水戸市復興祭の一駒として行われた広告祭には、車馬数百台、数千人が繰り出して水戸市内を練り歩き、クリスマス・セール、歳末セールへの前哨戦を花やかに展開した。

大
名
行
列





ふたたび「統計」のために

田 中 文 司

新装なつた県庁の屋上から朝の下界を眺めてみる。汽車、電車、バスなどあらゆる交通機関から市街に吐き出されるおびただしい人の渦、その渦が流れとなつて次第に細くなり、やがて各自の職場や学校に吸いこまれて行く。雨の日、まつ黒な洋傘の花が人道を埋め、その中に点々と赤い傘が交じつて風情を添える。

〃 9千万四ツの島に狭くいる〃 まつたく日本の人口はふえたものだ。昭和の初期の国定読本には、『大日本、大日本、神のみすえの天皇陛下、われら国民7千万を』と教えられたものである。昭和30年国勢調査の人口は89百万人、約9千万人であるから、太平洋戦争を経て30年の間に約2千万人ふえていることになる。2千万人といえば、フィリピン19百万人、エジプト19百万人、トルコ21百万人であるから、その増加ぶりがわかる。

本県の場合も同様に、昭和30年国調の人口が206万人大戦突入前昭和15年国調の人口162万人で44万の増、人口密度は1方軒当り昭和15年260人、それが昭和30年には340人だから、僅か1方軒の土地に74人がふえていることになる。

これらの膨脹した人口が、狭くなつた限られた国土に耕地に、職場に生存しているのであり、その狭き門を求めて、年々学窓を巣立つ若者達が希望に満ち溢れて羽ばたくのだが、ナベ底景気などの反映もあつて、就職も思うように行かず、その何割かが夢を打ちしだかれ、浪人したり、農家に依存する潜在失業者(二三男)となつて仕方なく農業に従事しているという状態になるのである。これは昭和30年度の県民所得による労働生産性において、第一次産業(農林水産業)の所得が、他の二次、三次の産業にくらべて、その就業人口による所得割合が意外に低いことでも判る。すなわち第一次産業の就業人口が63.2%で、これに対する所得は僅かに39.3%に過ぎず、さらにその大部分を占める農業の就業人口は62.1%で、それから生ずる所得は35.5%と驚くほど低い。これは農家の経営が近代化されつつあるとはいへ、その大部分は未だ旧態依然とした過重労働によつていることにあるが、二三男対策もまた大きな問題であろう。

街は、はなやかに盛装され、ビルが建ち、きらびやかな商店のウィンドウ、高級車のラッシュ、一見近代的な文化国家らしく見えるけれども、デフレの波に押し流される企業に対する不安や、経済的、社会的ないろいろやこしい問題、はては汚職や、グレン際の横行、性道德の頹廢、ロカビリの叫喚、育ち行く日本の足がきを見るような数々の政治的な問題が前途に横たわつている。

私達が目指している健康で明るい文化的な生活は、国

や県などで行ういろいろの政策が合理化されて、円満に遂行されてこそ、始めて得られるものであり、ここに各種の行政上の施策の計画、立案の土台としての統計の必要性が生れてくるわけである。過去の統計は「統計の為の統計」であれば良かったが、近代化された現今の社会においては、「使われる為の統計」使う為の統計が要求され、その数字が、何んの為、どのように使われるか、という使用上の目的によつて、綿密に科学的に企画設計され、実査、審査、集計、公表などの過程を経て一つの統計が生み出される。

統計の重要性ということは、誰しも一応は、口にすることであるが、いざこれを予算化することになると、どうしても不急の仕事に見られ勝ちで、直接一般の人々に影響のある事業が優先される。これにはいろいろ社会的な「大衆に対する人気？」問題などもあつて止むを得ない事でもあるが、しかしそれ等の事業が円満に遂行される為には信用のある土台となる基礎資料による、正しく計画立案された無駄のない施策が必要であると思う。

一つの統計が作り出される為には、その裏に大勢の統計人の努力がかくされていることを忘れることは出来ない。統計思想の低い一般の人々に対し調査の趣旨の普及に努めながら、正しい申告を得る事は容易なことではない。統計の生命の一つである限られた期日までに、正確な調査票を迅速に取まとめることは一通りの苦勞ではない。如何に立派な計画でも、被調査者の理解と協力がなくては、正しい統計は望まれない。最近統計協力学校などにより、子供達に対する統計教育が普及し、一般の人々にも理解の度を深めつつあるとはいへ、税金などに結びつけて正しい申告を得ることは仲々むづかしいことであり、今後統計の趣旨の普及という点がやはり統計を前進させていく為の一つの課題となろう。

統計は、その種類により、その時の社会状況によつてある程度その持つ内容に喰い違を生ずる場合があると思われから、これらの利用については、生の数字をそのまま使用する場合でも、その時の社会状況を客観的に判断して誤りのないように注意しなければならないと考えられる。

統計は一見地味な『縁の下の力持ち』といわれているが日進月歩する社会活動、経済、行政活動の為に手をうつ為の道具として、その持つ意義と使命は今後ますます大きいと思う、私達はこの職責に誇りと自覚を新にして努力して行きたいと考えている次第である。

(統計課統計主事)

昭和33年度学校衛生統計抽出調査速報 (その1)

学 事 統 計 係

この統計表は後日文部省から公表される数をもつて確定数となりますから多少相違する場合があります。

1. 層別規模基準および本県抽出率

層別	幼稚園		小学校		中学校		通常課程の高等学校		定時制課程の高等学校	
	幼児数による区分	抽出率	児童数による区分	抽出率	生徒数による区分	抽出率	生徒数による区分	抽出率	生徒数による区分	抽出率
A	300人以下	1	500人以下	1/10	500人以下	1/5	400人以下	1/3	250人以下	1/3
B	301人以上		501~1,000		501~1,000		401~800		251~500	
C	—		1,001~1,500		1,001~1,500		801~1,200		501~750	
D	—		1,501人以上		1,501人以上		1,201人以上		751人以上	

2. 全学校および抽出学校数

学校層別	幼稚園		小学校				中学校		高等学校											
	全学校	抽出学校	全学校	抽出学校			全学校	抽出学校	総括		通常課程		定時制課程							
				完全給食(A B C型)	D型およびその他	計			全学校	抽出学校	全学校	抽出学校	全学校	抽出学校	昼	夜	昼夜併	その他	計	
A	58	57	325	5	27	32	282	54	39	10	8	2	31	4	4	—	—	—	—	8
B	—	—	167	4	12	16	47	9	33	11	27	9	6	—	2	—	—	—	—	2
C	—	—	25	—	1	1	11	2	19	6	19	6	—	—	—	—	—	—	—	—
D	—	—	32	1	2	3	8	2	9	3	9	3	—	—	—	—	—	—	—	—
計	58	57	549	10	42	52	348	67	100	30	63	20	37	4	6	—	—	—	—	10

○抽出率により抽出された学校数の差は、抽出後における学校の統廃合により相違するものである。

3. 計測検査の受検率(学校種別の在学生徒児童数の内、身長、体重、胸囲、座高を受けた者の割合)

幼稚園 {男 96.8% 女 96.6%} 小学校 {男 98.6% 女 98.6%} 中学校 {男 96.8% 女 96.8%} 高等学校 {男 98.0% 女 98.6%}

4. 疾病異状の一般検診受検率(学校種別の在学生徒児童数の内疾病別検査を受けた者の割合)

幼稚園 {男 93.4% 女 93.7%} 小学校 {男 98.9% 女 99.0%} 中学校 {男 96.8% 女 96.7%} 高等学校 {男 98.2% 女 98.7%}

6. 幼児児童生徒の疾病異常該当者の百分率(一般検診)

項 学校別 (男女)	目	栄養 要注 意	せき 柱異 常	胸 郭異 常	伝皮 染膚 病疾 の患	眼							
						近 視	遠 視	乱 視	弱視 (両眼)	色 神異 常	トラ ホー ム	そ の 他 の 眼 疾	
幼稚園	男	0.72	0.4	1.64	1.4	—	—	—	—	—	—	1.22	2.64
	女	0.61	0.11	1.33	0.93	—	—	—	—	—	—	1.1	1.9
小学校	男	0.4	0.42	1.3	3.3	7.24	0.32	0.1	0.3	3.0	4.1	1.34	1.64
	女	0.4	0.25	0.7	2.5	7.6	0.33	0.1	0.31	0.3	5.02	1.64	—
中学校	男	0.6	0.63	0.8	3.01	10.44	0.34	0.44	0.52	3.6	2.61	1.65	—
	女	0.6	0.7	0.30	1.9	13.8	0.33	0.50	0.92	0.24	3.1	2.3	—
高等学校	総括	男	0.2	0.4	0.5	0.30	21.01	—	0.7	2.7	2.22	2.44	2.22
		女	0.1	0.01	0.01	—	25.34	0.32	0.84	0.6	0.1	1.7	2.3
	昼間	男	0.2	0.4	0.6	0.30	21.02	—	0.8	2.8	2.2	2.64	3.22
		女	0.1	0.01	0.01	—	25.14	0.32	0.9	0.6	0.1	1.7	2.3
夜間	男	—	0.44	0.33	0.22	20.9	—	—	1.9	2.72	0.54	1.74	
	女	—	—	—	—	32.82	—	—	1.54	0.51	1.54	1.03	

5. 茨城県の平均体位

男女別及び検査項目 学校種別		男				女			
		身長	体重	胸囲	座高	身長	体重	胸囲	座高
幼稚園	3才	96.1	14.7	51.8	56.5	94.7	14.1	50.8	55.6
	4	102.2	16.4	53.6	59.1	100.6	15.7	52.3	58.2
	5	107.1	17.6	55.1	61.4	105.9	17.1	53.7	60.9
小学校	6	110.7	19.0	56.3	62.9	109.9	18.4	54.8	62.5
	7	116.0	20.9	58.2	65.2	114.9	20.3	56.7	64.7
	8	120.9	23.1	60.2	67.6	120.1	22.6	58.5	67.3
	9	125.8	25.2	62.1	69.6	124.8	24.8	60.4	69.4
	10	130.1	27.5	63.7	71.7	130.0	27.6	62.3	71.8
中学校	11	134.5	30.0	65.7	73.6	135.5	30.9	65.5	74.2
	12	140.5	33.8	68.1	75.9	142.5	36.3	70.3	78.0
	13	146.8	38.6	71.7	79.3	147.0	40.7	73.5	80.6
高等学校	14	153.5	43.9	75.4	84.2	149.9	46.6	76.7	82.0
	15	160.5	51.0	80.1	87.4	151.7	47.9	77.9	84.0
	16	162.9	53.6	82.5	88.9	153.0	49.3	79.4	84.5
	17	164.5	56.0	84.3	89.9	153.6	50.0	80.1	84.6
	18	163.5	55.9	84.7	89.5	152.6	50.2	81.0	84.0
	19	164.1	57.0	85.0	89.4	156.4	50.5	80.8	85.1

耳			鼻およびいん頭				身 体 虚 弱	精 神 薄 弱	運 動 機 能 障 害	心 臓 の 疾 患	そ の よ の 疾 患	歯			そ の よ の 疾 患
難 聴 (両耳)	中 耳 炎	そ の 他 の 耳 疾	せ ん 様 増 殖 症 (ア デ ノ イ)	蓄 の う 症	へ せ ん と 肥 う 大	そ の よ の 疾 患 の い ん 頭						む し 歯	了 した 者	未 処 置 者	
—	0.44	0.11	1.73	—	10.7	0.62	0.14	0.1	0.11	0.14	1.9	89.00	1.2		
—	0.4	0.2	1.2	0.04	9.0	0.65	0.11	0.07	0.2	0.2	2.8	87.00	1.24		
0.32	0.5	0.34	0.10	1.02	9.23	1.41	0.61	0.4	0.31	0.6	1.64	78.02	1.72		
0.31	0.24	0.2	0.1	0.6	9.64	1.22	0.51	0.33	0.23	0.6	1.6	75.7	4.51		
0.4	0.8	0.25	0.2	1.70	6.61	1.4	0.82	0.5	0.41	0.3	1.23	5.9	5.7		
0.3	0.51	0.3	0.3	1.9	7.6	1.1	0.8	0.3	0.3	0.21	0.7	7.83	3.9		
0.2	0.5	0.24	—	1.3	2.54	1.5	0.01	—	0.1	0.2	0.4	11.2	47.3		
0.1	0.14	0.02	—	0.04	4.62	1.2	—	—	0.12	0.3	0.4	17.8	41.0		
0.24	0.54	0.3	—	1.43	2.65	1.54	0.01	—	0.1	0.2	0.3	11.7	46.1		
0.1	0.14	0.02	—	0.05	4.7	1.2	—	—	0.12	0.3	0.4	18.11	40.52		
0.1	0.44	0.1	—	—	1.63	1.1	—	—	—	0.1	1.1	6.6	59.33		
—	—	—	—	—	2.6	2.1	—	—	—	—	0.51	6.1	59.7		

昭和33年商業統計調査速報

産業中分類別商店数 (甲)

商工統計係

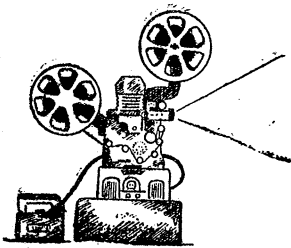
※甲は法人経営の商店および個人経営で常用労働者を有する商店を示す。(但し休業中の商店を除く)

地区別	業態別	40~41	42	43	44	45	47	48	49	合計
		卸売業	代理商 仲立業	各種商品 小売業	織物、衣服 身まわり 小売業	飲食料品 小売業	自転車 自荷小 売業	家具、建具 什小 売業	その他の 小売業	
総計		1,492	43	9	898	1,203	139	422	816	5,022
市計		1,184	39	6	656	901	90	299	560	3,735
水戸市		352	12	3	167	247	25	71	125	1,002
日立市		91	7	2	95	150	11	35	71	462
土浦市		166	3	—	91	114	9	36	82	501
古河市		83	2	—	32	58	6	20	49	250
石岡市		77	2	—	32	48	3	19	36	217
下館市		110	3	—	54	55	4	23	43	292
結城市		50	1	—	28	32	2	10	23	146
竜ヶ崎市		23	—	—	17	23	2	10	17	92
那珂湊市		41	2	—	20	22	3	11	21	120
下妻市		35	1	—	13	12	4	9	16	90
水海道市		46	1	—	18	25	4	17	21	132
常陸太田市		50	2	—	30	31	9	12	22	156
勝田市		19	—	—	19	31	2	9	14	94
高萩市		25	2	—	32	33	5	12	14	123
北茨城市		16	1	1	8	20	1	5	6	58
郡計		308	4	3	242	302	49	123	256	1,287
東茨城郡		19	—	—	36	43	8	19	33	158
西茨城郡		42	—	—	30	49	7	25	34	187
那珂郡		24	—	—	14	25	4	10	16	93
久慈郡		21	2	—	20	21	1	12	15	92
多賀郡		1	—	—	1	8	—	—	2	12
鹿島郡		32	—	1	19	17	4	8	21	102
行方郡		33	—	—	16	20	7	7	19	102
稲敷郡		16	—	—	14	25	4	8	23	90
新治郡		5	—	2	4	7	2	2	6	28
筑波郡		16	1	—	21	18	1	10	28	95
真壁郡		12	—	—	17	19	1	3	10	62
結城郡		17	—	—	8	7	2	2	7	43
猿島郡		43	1	—	24	18	4	9	22	121
北相馬郡		27	—	—	18	25	4	8	20	102

(乙 および 丙)

※乙は常用労働者を有しない個人経営の商店を、丙は飲食店を示す。(但し休業中の商店を除く)

地区別	業態別	40~41	42	43	44	45	47	48	49	合 計	丙 (飲食店)
		卸売業	代理商 仲立業	各種商品 小売業	織物、衣服 身まわり 小売業	飲食料品 小売業	自転車 荷車 小売業	家具建具 器 小売業	その他の 小売業		
総 計		1,094	153	14	2,382	14,391	1,165	2,524	4,500	26,223	2,700
市 計		612	49	2	1,127	5,981	389	1,151	2,186	11,497	1,796
水戸市		95	5	2	170	876	66	228	358	1,800	477
日立市		50	1	—	171	798	28	88	271	1,407	257
土浦市		71	13	—	98	574	38	97	274	1,165	212
占河市		40	—	—	99	384	37	111	152	823	174
石岡市		29	—	—	51	297	22	39	102	540	71
下館市		51	11	—	78	471	32	89	146	878	110
結城市		54	3	—	36	354	32	57	120	656	63
竜ヶ崎市		19	—	—	53	294	11	36	90	503	65
那珂湊市		38	—	—	59	298	11	69	113	588	46
下妻市		14	1	—	50	230	27	53	82	457	54
水海道市		56	5	—	66	329	29	101	133	719	55
常陸太田市		21	9	—	43	280	17	56	96	522	52
勝田市		16	1	—	44	171	19	41	92	384	58
高萩市		13	—	—	26	234	3	26	63	365	47
北茨城市		45	—	—	83	391	17	60	94	690	55
郡 計		482	104	12	1,255	8,410	776	1,373	2,314	14,726	904
東茨城郡		39	2	—	111	883	67	128	211	1,441	103
西茨城郡		45	1	—	132	703	53	101	190	1,225	126
那珂郡		55	11	1	111	615	68	163	185	1,209	70
久慈郡		22	1	5	75	482	36	73	117	811	44
多賀郡		—	—	—	—	81	2	8	10	101	6
鹿島郡		54	—	1	110	905	56	122	224	1,472	82
行方郡		41	1	—	86	544	42	108	152	974	75
稲敷郡		30	6	1	84	814	74	88	194	1,291	76
新治郡		10	—	4	31	472	41	37	90	685	20
筑波郡		47	20	—	128	796	81	158	238	1,468	52
真壁郡		34	13	—	82	542	50	101	167	989	47
結城郡		17	13	—	65	354	48	75	144	716	49
猿島郡		56	33	—	139	787	117	132	283	1,547	93
北相馬郡		32	3	—	101	432	41	79	109	797	61



茨 城 の 映 画 館

昭和 33 年 4 月 現在

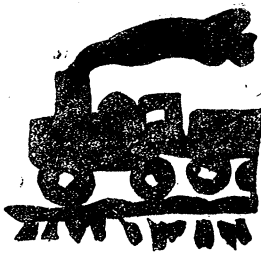
映画興行の難しさは、他の多くの興行の難しさと同じく、それがいつも水もの的要素に支配されているところにある。映画の娯楽性は、いまでは野球のそれと共に大衆の心を大きくつかんでいるから、或程度の固定観客がいるが、それでも、映画によって当り外れかをはなはだしい。1つの映画館がまあ何とか経営を続けていく為には、1万5千の人口が必要で、人口2万に1館の割合だと経営が楽だという話だが、娯楽施設はどうしても都市に集中するので、需給のバランスも上述のように一概には言えないだろう。

市 郡 別	館 数	内シネスコ設置	ワイド 設置	人 (33年4月) 口	1 館 あ たり
水 戸 市	10	10	—	131,916	13,191
目 立 市	11	9	—	145,816	13,256
土 浦 市	7	6	—	72,338	10,334
古 河 市	5	4	—	41,273	8,254
石 岡 市	2	2	—	36,732	18,366
下 館 市	4	3	—	52,349	13,087
結 城 市	3	3	—	39,421	13,140
竜 崎 市	2	2	—	33,987	16,993
那 珂 市	2	2	—	33,939	16,969
下 妻 市	2	2	—	31,664	15,832
水 海 市	3	1	1	39,429	13,143
常 陸 市	3	—	—	39,296	13,098
勝 田 市	1	1	—	38,061	38,061
高 萩 市	2	2	—	32,803	16,401
北 茨 城 市	4	3	—	62,863	15,715
市 計	61	50	1	831,887	13,639
東 茨 城 郡	6	5	—	139,131	23,188
西 茨 城 郡	8	3	—	95,740	11,967
那 珂 郡	3	—	—	107,784	35,928
久 慈 郡	5	1	—	78,725	15,745
多 賀 郡	—	—	—	11,136	—
鹿 島 郡	6	1	1	121,817	20,302
行 方 郡	7	4	1	74,530	10,647
稻 敷 郡	2	2	—	114,551	57,275
新 治 郡	3	2	—	88,353	29,451
筑 波 郡	6	4	—	95,986	15,997
真 壁 郡	4	2	1	80,793	20,198
結 城 郡	1	1	—	56,113	56,113
猿 島 郡	6	2	—	125,436	20,906
北 相 馬 郡	5	5	—	56,297	11,259
郡 計	62	32	3	1,246,392	20,103
合 計	123	82	4	2,078,279	16,896

.....
 全 国 の 映 画 館

事項別		館 数 (33年4月現在)	内シネスコ設置	ワイド設置	人 口	
府 県 別	人				人	
東 奈 京	神 川	629	598	23	(12) 8,573,879	13,630
		219	176	10	(11) 3,074,622	14,039
		118	95	8	2,205,060	18,686
		113	84	3	(10) 2,338,510	20,694
千 葉	千 馬	94	75	2	(10) 1,602,476	17,047
		106	80	6	1,547,580	14,599
		123	82	4	(4) 2,078,279	16,896
		152	121	2	(12) 2,092,607	13,767
栃 木	茨 城	127	99	5	(3) 1,765,133	13,898
		111	79	3	(10) 1,468,294	13,227
		174	126	12	(10) 1,412,264	8,116
		114	85	8	(10) 1,372,508	12,039
秋 田	山 形	82	61	3	1,353,649	16,507
		154	115	5	(11) 2,473,492	16,061
		113	93	5	(10) 2,000,468	17,703
		71	51	4	(3) 822,625	11,586
山 梨	山 梨	227	175	2	(10) 2,702,516	11,905
		302	244	13	(10) 3,925,495	12,998
		142	107	6	(12) 1,592,285	11,213
		80	64	4	(12) 1,028,250	12,853
石 川	福 井	69	56	0	(12) 975,590	14,138
		47	35	3	(10) 754,055	16,043
		117	84	6	(10) 1,478,625	12,638
		40	32	1	(12) 856,432	20,832
滋 京	都 府	107	85	1	1,935,161	18,085
		88	68	6	1,006,819	11,441
		51	40	4	(3) 786,813	15,427
		452	355	19	(10) 4,904,831	10,851
和 歌 山	大 阪	298	230	9	(9) 3,743,521	12,562
		124	95	4	1,689,800	13,627
		266	183	9	(3) 2,214,589	9,799
		47	27	4	(12) 616,948	13,126
鳥 取	島 根	52	34	2	(10) 921,886	17,728
		133	112	5	(10) 1,619,484	12,176
		167	116	8	(10) 1,572,768	9,417
		112	78	8	(1) 905,321	8,083
高 知	香 川	99	67	6	(12) 942,217	9,517
		93	69	1	(7) 865,861	9,310
		409	316	18	(12) 3,967,076	9,699
		125	106	5	(10) 1,895,663	15,165
高 岡	山 本	79	57	1	(11) 971,752	12,300
		166	107	6	(1) 1,747,596	10,527
		134	88	13	(3) 1,320,935	9,857
		91	61	1	(11) 1,137,786	12,503
鹿 児 島	道 島	104	71	6	(10) 2,020,855	19,431
		560	367	35	(9) 4,965,385	8,866
合 計		7,281	5,549	309	91,247,761	12,532
沖 縄 群 島		90	37	0	—	—

注 人口の欄内の数字は32年の月の数字を示し、その月現在の人口を示す。但し、熊本は30年、富山、石川、三重、鳥取は31年、高知、長崎、茨城は33年のそれぞれ月数を示す。
 なおこの表は、人口の調査時点が一定でない為、大体の比較を示すにとどまる。



農 産 品 の

農 産 品 発 送 関

先月に引き続き、今度は各県がその駅から発送した昭和32年度中の農産物について見てみましょう。

まず第1に気つくことは、茨城県がやはり中々の農業県だということです。

各種の農産物のうち特に動きの多いのは甘しよ、米、麦、葉たばこ等で、中でも甘しよは全国一の動きを示しております。ひと頃、大洗、磯浜の水産物加工業者が、さんまやいわしの開干を作るかわりに、乾燥いもを作つて大変収益を上げたことがありました。甘しよのおもな送り先は北海道、青森、岩手をはじめ東北地方が多いようです。

昭和32年中の茨城県の米の収穫高は2,139,935石で、農林省の統計によると大体全国で第7位の収穫を上げておりますが、米の輸送量もそれに応じて多く、全国で第10番目となつております。おもな送り先は東京、神奈川、県内、大阪の順となつています。

次に葉たばこは、栃木、福島に次いで荷の動きが多く神奈川、東京、宮城、北海道に多く送られています。

注 品目の内容

麦……大麦、小麦、裸麦、割麦、胚麦
(除えん麦)

大豆……(除脱脂大豆)

甘しよ……生甘しよ、干甘しよ

馬鈴しよ……生馬鈴しよ、干馬鈴しよ

野菜……根菜、茎菜、葉菜等の生野菜
全部及びたけのこ、未熟の豆類等

その他の果物……なし、かき、桃、バナナ、すいか、夏みかん

飼料……えん麦、牧草、配合飼料、穀物のぬか、乾さなぎ

		米	麦	大 豆	甘しよ
北 海	道	185,913	150,480	62,721	2,371
	森	127,903	2,201	7,223	492
	手	105,698	5,956	13,376	544
	城	271,208	12,437	8,941	63
山 形	宮	316,784	1,787	175	90
	秋				
	山	297,444	3,691	4,904	10
	福	116,801	20,425	5,219	107
茨 城	形	(10) 108,427	(5) 116,375	(28) 341	(1) 85,750
	城	95,500	69,817	120	9,171
	木	19,363	20,933	145	1,052
	馬				
埼 千	玉	27,880	67,322	1,081	24,290
	葉	114,825	60,277	1,270	13,784
	京	66,618	79,359	3,207	13,576
	川	22,194	734,490	105,573	17,227
奈 新	瀧	449,967	16,669	2,051	695
	富	147,506	2,825	292	—
	石	53,470	1,314	687	1,781
山 梨	山	76,616	1,316	65	2,781
	井	5,762	31,975	435	250
	梨	74,339	21,500	13,097	71
	野				
岐 静	阜	9,665	8,598	95	202
	岡	19,284	84,866	3,635	41,813
	知	42,224	112,070	7,438	5,652
	重	20,884	17,693	3,716	4,619
三 滋	賀	53,299	7,374	70	45
	京	14,133	7,662	35	155
	大	39,409	87,571	484	558
兵 奈	庫	44,743	168,922	30,908	204
	良	95	6,793	—	—
	山	967	6,616	30	1,851
	歌				
鳥 島	取	29,731	5,665	—	2,412
	根	27,764	3,792	45	757
	山	64,082	38,982	2,421	836
	島	51,748	51,631	105	1,785
岡 広	口	17,712	113,080	3,317	228
	徳	3,225	11,779	40	2,133
	香	15,748	59,414	40	582
愛 高	媛	2,580	23,882	—	9,925
	知	1,573	314	—	2,155
	岡	70,998	268,823	41,644	416
	福				
佐 長	賀	50,487	13,316	120	2,499
	崎	19,933	15,387	90	24,272
	本	53,476	22,773	260	4,529
	分	39,623	16,925	82	2,519
大 宮	崎	30,223	7,437	1,550	38,011
	島	33,371	5,070	1,785	28,350
	児				
	鹿				
合 計		3,441,195	2,587,584	328,833	350,613

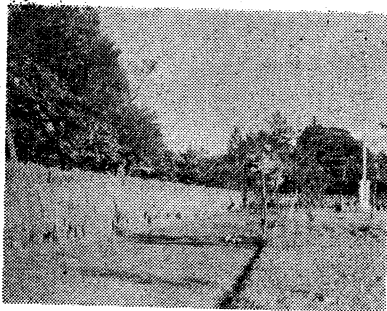
鉄 道 輸 送

(昭和32年報)

保 府 県 別 屯 数

(茨城県の欄()内の数字は対全国の本県の順位)

馬鈴しよ	てん菜	野 菜	り ん ご	み かん	そ の 他 物	葉 た ば こ	銅 料	合 計
170,808	588,715	81,123	12,105	2,208	13,510	14	135,596	1,405,564
54,713	—	6,641	699,211	75	2,307	4,064	7,368	912,198
4,696	—	36,039	22,087	52	172	18,823	2,874	210,317
16,339	—	6,399	401	115	1,083	4,482	17,945	339,413
4,855	—	832	27,301	65	1,866	4,139	11,190	369,084
7,290	—	36,937	36,175	220	21,867	5,739	8,625	422,902
10,616	—	18,273	21,952	150	34,154	32,319	13,370	273,386
(86) 92	(13)	14,248	(27) 161	—	(27) 2,992	(3) 29,531	(12) 28,177	(11) 386,094
50	—	6,548	105	30	147	33,928	34,621	250,037
2,238	—	10,060	35	—	40	1,140	14,082	69,088
145	—	21,778	120	—	304	488	24,342	167,750
161	—	5,741	70	—	110	5,416	93,592	295,246
6,094	—	19,087	702	110	371	5,910	47,640	242,674
240	—	6,329	216	9,331	9,962	13,509	186,626	1,105,697
1,494	—	4,662	322	127	23,968	7,414	8,464	515,833
60	—	3,799	202	105	651	2,260	4,525	162,225
255	—	10,803	533	40	3,362	8,070	10,450	90,765
60	—	1,945	55	35	75	2,726	4,191	89,865
175	—	465	85	—	6,222	—	19,654	65,023
21,418	—	78,088	158,731	132	24,509	4,793	12,019	408,697
155	—	6,796	70	52	1,817	1,302	3,677	32,429
4,609	—	52,055	147	75,402	95,530	11,538	31,285	420,164
3,769	—	113,807	140	79	5,470	7,916	173,890	472,455
50	—	2,311	55	937	4,169	4,094	15,405	72,933
—	—	10	45	—	9	784	5,136	66,772
751	—	607	145	—	67	4,041	10,488	38,084
458	—	58,525	325	400	1,520	5,072	25,916	220,238
1,804	—	12,991	1,107	140	23,582	19,930	132,830	437,161
15	—	562	67	10	3,764	500	2,505	14,311
115	—	25,772	27	56,782	94,191	376	4,380	191,107
40	—	8,057	292	60	28,424	2,980	547	78,208
95	—	1,082	140	—	1,812	3,622	418	39,527
2,311	—	7,343	335	1,675	26,872	13,652	35,467	193,976
9,647	—	3,593	293	32,189	49,408	13,694	33,965	248,058
293	—	584	911	6,796	15,856	5,266	26,678	190,721
50	—	3,235	30	1,534	1,938	10,727	441	35,132
255	—	670	397	4,992	11,638	9,065	21,533	124,334
724	—	709	47	61,588	99,159	4,016	11,571	214,201
15	—	21,321	20	—	12,687	6,285	362	44,732
765	—	882	1,382	220	4,766	5,531	92,683	488,110
460	—	419	604	2,665	3,514	1,780	23,574	99,438
1,849	—	3,435	222	390	3,563	2,059	4,691	75,891
333	—	3,552	626	2,817	3,574	8,267	17,878	118,085
92	—	1,051	1,594	3,553	4,153	7,618	1,300	78,510
8,058	—	12,638	81	10	835	16,414	5,029	120,286
1,089	—	2,983	267	1,095	2,310	24,623	1,138	102,081
339,601	588,715	714,787	989,938	266,181	643,300	374,917	1,368,138	11,998,802



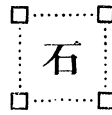
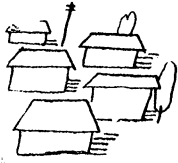
昭和32年の米の集荷

冬近く、稲の刈取りもすつかり終り、掛穂おだ干し脱穀、乾燥調整、糶摺を経て俵詰と、例によつて例のごとく、農家の忙しい季節であるが、早くは9月に始まつた米の集荷も12月になれば、その殆んどが完了する。

台風さえなければ4年つづきの豊作をおう歌した所もあろうが、昔と違い、米の集荷にも大して困難を感じなくなつて来た。ここに参考のため昭和32年の市町村別の米の集荷数量と、指示数量に対する歩合を掲げて、本年度の米の集荷もまた円滑に行われることを期待しよう。

米 集 荷 実 績 (昭和32年) 一農林部農業組織課一

市町村別	集荷数量	歩合(集荷指示)	市町村別	集荷数量	歩合(集荷指示)	市町村別	集荷数量	歩合(集荷指示)	市町村別	集荷数量	歩合(集荷指示)
	石	%		石	%		石	%		石	%
昭和31年	983,638	103.1	西茨城郡	39,314	100.2	波崎町	2,197	101.3	豊里町	4,037	104.3
昭和32年	928,587	100.8	笠間町	11,739	100.0	行方郡	60,304	100.1	筑波町	20,720	100.5
水戸市	10,902	99.2	友部町	6,848	100.4	麻生町	16,876	100.4	大穂町	6,149	107.2
日立市	3,864	100.4	岩間町	4,528	100.4	牛堀町	6,280	100.2	真壁郡	58,265	99.2
土浦市	19,409	100.3	七会村	1,381	100.3	潮来町	17,029	100.2	関城町	10,578	100.5
古河市	1,797	112.9	岩瀬町	14,818	100.1	北浦村	8,321	99.2	明野町	14,916	100.3
石岡市	13,375	100.4	那珂郡	24,704	98.6	玉造町	11,798	100.3	大和村	6,322	98.1
下館市	45,518	99.8	東海村	1,203	82.1	稲敷郡	142,357	100.1	真壁町	11,826	99.3
結城市	18,824	102.7	那珂町	7,031	99.0	江戸崎町	11,565	100.2	協和村	14,623	97.7
竜ヶ崎市	29,120	100.1	瓜連町	1,942	100.8	美浦村	9,453	100.1	結城郡	34,166	102.2
那珂湊市	816	97.6	大宮町	11,152	99.2	阿見町	6,463	100.4	八千代村	15,873	104.1
下妻市	20,893	100.3	山方町	2,229	100.8	茎崎村	3,678	101.1	千代川村	5,849	100.7
水海道市	20,105	101.2	緒川村	1,055	102.2	牛久村	6,019	100.9	石下町	12,444	100.5
常陸太田市	17,276	101.0	美和村	92	105.7	新利根村	17,180	100.0	猿島郡	51,530	110.0
勝田市	3,455	85.3	久慈郡	17,815	101.2	桜川村	11,755	100.2	総和村	11,073	110.6
高萩市	5,243	100.6	金砂郷村	9,212	101.5	河内村	32,894	100.0	五霞村	5,459	111.7
北茨城市	12,307	100.3	水府村	665	103.6	東村	43,350	100.0	三和村	11,350	112.3
東茨城郡	49,902	99.8	里美村	1,658	100.6	新治郡	62,318	100.3	猿島町	5,235	107.8
常澄村	11,242	97.7	大子町	6,280	100.8	出島村	14,808	100.3	岩井町	11,364	106.7
赤塚村	3,612	101.0	多賀郡	2,306	100.3	玉里村	3,152	100.2	境町	7,049	110.0
茨城町	10,637	99.5	十王町	2,306	100.3	八郷町	20,264	100.2	北相馬郡	46,036	100.3
小川町	4,391	99.5	鹿島郡	35,387	101.0	千代田村	8,546	100.5	守谷町	2,974	102.8
美野里村	5,831	100.0	旭村	964	100.0	新治村	7,881	100.1	取手町	8,565	100.3
内原村	6,216	100.5	鉾田町	5,502	100.2	桜村	7,367	100.7	藤代町	20,638	100.2
常北町	3,274	101.2	大洋村	2,905	100.7	筑波郡	81,279	101.1	利根町	13,859	100.1
桂村	1,995	104.7	大野村	4,983	100.9	谷田部町	12,330	101.5			
御前山村	1,148	101.9	鹿島町	10,240	100.9	伊奈村	22,574	100.0			
大洗町	1,556	100.3	神栖村	8,596	101.7	谷和原村	15,469	100.1			



青 木 正 寿

私の家では毎年冬になるとひどい霜どけで庭がぬかり炭の空俵やむしろなどを敷いてどうにか間に合わせていた。ところが始めの頃はまだしも、だんだん古くなるときたなくなるばかりでなく、お正月の頃にはこの敷物もだいぶくたびれて貧乏世帯をいつそうはつきりさせてしまう。

ことはなんとかして庭に敷石をしきたいものと春の頃から心掛けていたところ、たまたま市内の友人から砂利と砂を寄贈されたので、できたものを買うより安かろうと日曜たびに敷石づくりをすることにした。

まず敷石用のコンクリート枠を5個ほどづくり、その辺の古板を集めて砂やセメントをまぜ合わせる大きな箱をつくつたりして準備した。

なにしろスコップもコテもないので唐鋏でまぜ合せたり自家製の木のコテでなげたり、商売人ではちよつと考えられない日曜土方を始めたのである。なれない仕事なので始めはなかなか骨もおれたが日曜

ごとに五枚づつ出来あがり、それが門から玄関へ、さらに玄関からお勝手へと一枚一枚としかれてゆくうちに始めの苦勞もどこへやら、なんともいわれない楽しみに変つたていつ。家内からセメント代も大変だからといわれてもなかなかやめられないでとうとう六十何枚かつくりあげた。

出来あがりは何れにも無細工だが、自分の手でつくり、ああでもないこうでもない、気のむくままに一枚づつ敷いてゆへ楽しみはまたかくべつである。

そしてまたしきつめられた敷石を毎朝ながめたり歩いだりしながら考えさせられることは、まっすぐに、きちょう面に敷かれた敷石よりも適当なまる味でカーブした敷石の方がいかにいわれない風情のあることである。

統計の仕事もなにかこの敷石づくりと相通ずるものがあるのではあるまいか。

かたいながらもなんとなくまる味のある統計人になりたいものである。

新 調 査 案 内

昭 和 33 年 工 業 統 計 調 査

通商産業省では、今年もまた例年のように12月31日現在で工業統計調査を実施することになりました。

御承知のように、この調査の目的は、わが国の経済活動の実態を製造工業の面から明らかにするために行かれるもので、この調査結果は通商産業省の行政施策の資料として活用されているのみならず、広くわが国の行政施策の基礎資料として重視されています、さらに、最近経営の科学的管理ということが叫ばれている折から、企業

の経営指針としても非常に利用されています。

今年の調査は、若干の点を除いては昨年どおりで、ただ付帯調査に30名以上の従業者を有する工場に対して工業用水調査を行つて、全国における工業用水の需給の実態を明らかにすることになりました。

本年もまた皆様方の絶大な御協力により、この調査が円滑に遂行されるようお願い申し上げます。

毎月人口世帯異動調査結果

(昭和33年9月分)

1. 世帯異動状況

	前月末	増 加				減 少				本月末
		転 入		その他	計	転 出		その他	計	
		県外から	県内から			県外へ	県内へ			
世 帯 数	390,218	252	485	100	837	246	346	25	617	390,438
前月との増減比	—	88.1	95.4	99.0	93.5	85.1	108.7	80.6	96.5	100.0

前月=100

2. 人口異動状況

	前月末	増 加					減 少					本月末
		出 生	転 入		その他	計	死 亡	転 出		その他	計	
			県外から	県内から				県外へ	県内へ			
計	2,079,997	2,633	2,664	4,135	156	9,588	1,117	3,701	3,433	252	8,503	2,081,082
男	1,012,855	1,344	1,453	2,086	130	5,013	585	2,062	1,750	246	4,643	1,013,225
女	1,067,142	1,289	1,211	2,049	26	4,575	532	1,639	1,683	6	3,860	1,067,857
前月との増減比	—	100.0	107.2	123.7	73.5	110.8	103.5	108.2	103.9	213.7	107.2	100.0

前月=100

3. 県外からの転入者内訳

従前の居住地	転入者数	割 合
合 計	2,664	100%
東 京 都	1,412	53.0
埼 玉 県	108	4.1
神 奈 川 県	140	5.3
千 葉 県	159	6.0
栃 木 県	127	4.7
群 馬 県	49	1.8
福 島 県	176	6.6
その他の府県	493	18.5

4. 県外転出者内訳

転出先の居住地	転出者数	割 合
合 計	3,701	100%
東 京 都	2,008	54.3
埼 玉 県	165	4.5
神 奈 川 県	334	9.0
千 葉 県	220	5.9
栃 木 県	127	3.4
群 馬 県	29	0.8
福 島 県	248	6.7
その他の府県	570	15.4

5. 市町村別世帯数および人口 (月末現在)

市町村名	世帯数	人 口			市町村名	世帯数	人 口		
		計	男	女			計	男	女
市 計	175,132	868,720	424,765	443,955	竜ヶ崎市	6,635	34,040	16,473	17,567
水戸市	28,558	132,944	64,061	68,883	那珂湊市	6,939	33,985	15,897	18,088
日立市	30,315	147,448	74,729	72,719	下妻市	5,605	31,634	15,152	16,482
土浦市	16,075	72,289	35,028	37,261	水海道市	7,310	39,403	19,034	20,369
古河市	8,787	41,137	19,510	21,627	常陸太田市	7,709	39,216	19,053	20,163
石岡市	7,248	36,621	17,614	19,007	勝田市	7,739	38,289	18,903	19,386
下館市	9,623	52,403	25,328	27,075	高萩市	6,956	32,971	16,423	16,548
結城市	6,961	39,326	18,911	20,415	北茨城市	12,362	63,596	32,532	31,034
					笠間市	6,310	33,448	16,117	17,331

市町村名	世帯数	人			市町村名	世帯数	人		
		計	男	女			計	男	女
郡 計	215,306	1,212,362	588,460	623,902	稲 敷 郡	20,959	114,622	55,687	58,935
東茨城郡	25,638	139,078	67,387	71,691	江戸崎町	2,519	13,444	6,438	7,006
常澄村	1,737	10,354	5,076	5,278	美浦村	1,726	9,696	4,692	5,004
茨城町	5,533	31,568	15,482	16,086	阿見町	4,229	21,744	10,748	10,996
小川町	2,935	16,400	7,907	8,493	牛久崎町	1,076	6,431	3,183	3,248
美野里村	2,694	15,159	7,390	7,769	新利根村	3,051	16,145	7,979	8,166
内原村	2,261	13,366	6,739	6,627	川内村	1,810	9,795	4,710	5,085
常北村	2,369	12,448	6,011	6,437	河東村	1,668	9,232	4,348	4,884
桂山村	1,852	9,564	4,598	4,966		2,386	13,854	6,709	7,145
御前町	1,452	7,826	3,708	4,118		2,494	14,281	6,880	7,401
大洗町	4,805	22,393	10,476	11,917	新 治 郡	15,766	88,278	43,300	44,978
西茨城郡	11,051	62,296	30,204	32,092	出島村	3,503	19,436	9,576	9,860
友部町	3,463	19,350	9,517	9,833	玉里村	975	5,407	2,663	2,744
岩間町	2,500	14,462	6,948	7,514	八郷町	5,722	32,869	16,051	16,818
七岩	733	4,269	2,054	2,215	千代田村	2,083	12,124	5,950	6,174
会瀬町	4,355	24,215	11,685	12,530	新桜村	1,657	8,976	4,418	4,558
						1,826	9,466	4,642	4,824
那 珂 郡	19,782	107,827	52,746	55,081	筑 波 郡	17,206	95,639	46,665	48,974
東海村	1,981	12,327	6,234	6,093	谷田部町	3,988	21,745	10,769	10,976
那珂町	5,848	31,170	15,270	15,900	伊奈村	2,124	12,478	6,021	6,457
瓜連町	1,414	7,184	3,478	3,706	谷和原村	2,005	11,446	5,510	5,936
大宮町	4,865	25,780	12,486	13,294	谷里町	2,147	11,968	5,911	6,057
山方町	2,571	13,834	6,754	7,080	筑波町	4,746	25,791	12,508	13,283
美川村	1,535	8,943	4,359	4,584	筑波町	2,196	12,211	5,946	6,265
緒川村	1,568	8,589	4,165	4,424	真 壁 郡	13,845	80,752	39,067	41,685
久 慈 郡	14,382	78,555	37,858	40,697	関城町	2,631	15,559	7,546	8,013
金砂郷村	2,812	15,650	7,478	8,172	明野町	3,090	18,425	8,949	9,476
水府村	2,327	12,205	5,884	6,321	大壁村	1,414	8,646	4,208	4,438
里美子村	1,445	8,176	3,911	4,265	真協村	4,182	23,144	11,077	12,067
大子町	7,798	42,524	20,585	21,939		2,528	14,978	7,287	7,691
多 賀 郡	2,258	11,209	5,565	5,644	結 城 郡	9,354	55,897	27,138	28,759
十王町	2,258	11,209	5,565	5,644	八千代村	4,217	26,058	12,714	13,344
					千代川村	1,606	9,127	4,422	4,705
					石下町	3,531	20,712	10,002	10,710
鹿 島 郡	20,936	122,033	58,997	63,036	猿 島 郡	20,478	125,340	60,655	64,685
旭村	1,981	12,046	5,842	6,204	総和村	3,279	20,534	9,984	10,550
鎌田村	5,301	29,768	14,424	15,344	五三村	1,504	9,766	4,792	4,974
大野村	1,859	10,784	5,195	5,589	猿島町	3,236	20,587	9,925	10,662
大鹿村	1,809	11,205	5,435	5,770	猿井町	2,508	15,789	7,607	8,182
神波村	2,790	16,296	7,862	8,434	猿井町	5,894	35,050	17,108	17,942
神波村	2,874	16,944	8,104	8,840	猿井町	4,057	23,614	11,239	12,375
神波村	4,322	24,990	12,135	12,855	北 相 馬 郡	10,663	56,321	27,337	28,984
行 方 郡	12,998	74,515	35,854	38,661	守谷町	2,149	11,916	5,793	6,123
麻生町	3,591	21,100	10,223	10,877	取手町	4,446	21,924	10,734	11,190
牛堀町	1,223	7,099	3,427	3,672	藤根町	2,326	12,817	6,126	6,691
潮来町	3,154	17,789	8,427	9,362		1,742	9,664	4,684	4,980
北浦町	2,178	12,951	6,214	6,737					
玉造町	2,842	15,576	7,563	8,013					

【続】

(昭和33年10月分)

1. 世帯異動状況

	前月末	増				減				本月末
		転入		その他	計	転出		その他	計	
		県外から	県内から			県外へ	県内へ			
世帯数	390,438	238	463	162	863	254	318	72	644	390,657
経月への増減比	—	94.4	95.4	106.2	103.0	103.1	91.8	288.0	104.3	100.0

前月=100

2. 人口異動状況

	前月末	増				減				本月末		
		出生	転入		その他	計	死亡	転出			その他	計
			県外から	県内から				県外へ	県内へ			
男	2,081,082	2,794	2,408	3,280	225	8,707	1,401	3,622	3,638	863	9,524	2,080,265
女	1,013,225	1,404	1,283	1,611	149	4,447	757	1,867	1,904	464	4,992	1,012,680
計	1,067,857	1,390	1,125	1,669	76	4,260	644	1,755	1,734	399	4,532	1,067,585
前月との増減比	—	106.1	90.3	79.3	144.2	90.8	125.3	97.8	105.9	344.4	112.0	99.6

前月=100

3. 県外からの転入者内訳

従前の住居地	転入者数	割	合
合計	2,408		100
東京都	1,211	50.3	
埼玉県	103	4.3	
神奈川県	185	7.7	
千葉県	136	5.7	
栃木県	150	6.2	
群馬県	34	1.4	
福島県	162	6.7	
その他の府県	427	17.7%	

4. 県外転出者内訳

転出先の居住地	転出者数	割	合
合計	3,622		100%
東京都	2,135	59.0	
埼玉県	125	3.5	
神奈川県	342	9.4	
千葉県	226	6.2	
栃木県	103	2.8	
群馬県	39	2.1	
福島県	211	5.8	
その他の府県	441	12.2	

5. 市町村別世帯数及び人口 (月末現在)

市町村名	世帯数	人			市町村名	世帯数	人		
		計	男	女			計	男	女
市計	175,304	867,997	424,197	443,800	竜ヶ崎市	6,633	34,054	16,481	17,573
水戸市	28,591	133,046	64,133	68,913	那珂湊市	6,946	33,974	15,858	18,116
日立市	30,383	146,599	74,122	72,477	下妻市	5,601	31,626	15,142	16,484
土浦市	16,085	72,259	35,018	37,241	水海道市	7,318	39,375	19,021	20,354
古河市	8,797	41,176	19,531	21,645	常陸市	7,724	39,191	19,045	20,146
石岡市	7,249	36,621	17,616	19,005	勝田市	7,752	38,362	18,938	19,424
下館市	9,622	52,431	25,349	27,082	高萩市	6,956	32,945	16,414	16,531
結城市	6,968	39,322	18,920	20,402	北茨城市	12,370	63,548	32,481	31,067
					笠間市	6,309	33,468	16,128	17,340

市町村名	世帯数	人			市町村名	世帯数	人		
		計	男	女			計	女	男
郡 計	215,353	1,212,268	588,483	623,785	稻敷郡	20,976	114,731	55,750	58,981
東茨城郡	25,627	139,012	67,379	71,633	江戸崎町	2,520	13,446	6,435	7,011
常澄村	1,735	10,338	5,075	5,263	美浦村	1,726	9,684	4,680	5,004
茨城川町	5,533	31,586	15,489	16,097	阿見村	4,233	21,738	10,735	11,003
小里町	2,934	16,406	7,910	8,496	牛久保村	1,090	6,545	3,257	3,288
美野村	2,695	15,136	7,381	7,755	新利根村	3,056	16,155	7,988	8,167
内原村	2,263	13,348	6,728	6,620	桜川村	1,810	9,815	4,718	5,097
常北町	2,370	12,439	6,012	6,427	河内村	1,667	9,217	4,342	4,875
桂村	1,851	9,546	4,591	4,955	河東村	2,385	13,837	6,708	7,129
御前山町	1,450	7,830	3,707	4,123		2,489	14,294	6,887	7,407
大洗町	4,796	22,383	10,486	11,897	新治郡	15,757	88,181	43,248	44,933
西茨城郡	11,050	62,263	30,182	32,081	出島村	3,503	19,421	9,570	9,851
友部町	3,467	19,363	9,526	9,837	玉里郷	974	5,364	2,632	2,732
岩間町	2,496	14,445	6,937	7,508	八千代田村	5,720	32,852	16,045	16,807
七会町	733	4,263	2,052	2,211	新治村	2,081	12,108	5,941	6,167
岩瀬町	4,354	24,192	11,667	12,525	新桜村	1,653	8,976	4,423	4,553
						1,826	9,460	4,637	4,823
那珂郡	19,800	107,886	52,785	55,101	筑波郡	17,203	95,595	46,637	48,958
東海村	1,990	12,338	6,244	6,094	谷田部町	3,989	21,740	10,769	10,971
那珂町	5,849	31,180	15,281	15,899	伊奈村	2,123	12,476	6,018	6,458
瓜連町	1,415	7,205	3,482	3,723	谷和原村	2,003	11,435	5,503	5,932
大山宮方町	4,873	25,791	12,495	13,296	谷里町	2,152	11,990	5,925	6,065
美和川村	2,570	13,837	6,752	7,085	筑波町	4,740	25,753	12,483	13,270
	1,536	8,942	4,359	4,583	大穂町	2,196	12,201	5,939	6,262
	1,567	8,593	4,172	4,421	眞壁郡	13,835	80,733	39,038	41,695
久慈郡	14,377	78,563	37,883	40,680	関城町	2,628	15,554	7,540	8,014
金砂郷村	2,811	15,643	7,473	8,170	明野町	3,089	18,435	8,946	9,489
水府村	2,328	12,208	5,887	6,321	大真壁町	1,414	8,640	4,205	4,435
里美子村	1,445	8,179	3,908	4,271	協和村	4,177	23,130	11,064	12,066
大子町	7,793	42,533	20,615	21,918		2,527	14,974	7,283	7,691
多賀郡	2,267	11,228	5,576	5,652	結城郡	9,352	55,866	27,119	28,747
十王町	2,267	11,228	5,576	5,652	八千代村	4,218	26,055	12,718	13,337
鹿島郡	20,929	122,049	59,003	63,046	千代川村	1,606	9,119	4,412	4,707
旭村	1,981	12,042	5,846	6,196	石下町	3,528	20,692	9,989	10,703
銚田町	5,296	29,740	14,415	15,325	猿島郡	20,510	125,334	60,667	64,667
大田村	1,860	10,781	5,186	5,595	総和村	3,287	20,561	10,003	10,558
大野村	1,810	11,218	5,445	5,773	五霞村	1,504	9,759	4,791	4,968
神島村	2,787	16,315	7,869	8,446	三和村	3,248	20,586	9,923	10,663
神栖村	2,873	16,952	8,113	8,839	猿島町	2,524	15,798	7,623	8,175
波崎町	4,322	25,001	12,129	12,872	岩井町	5,893	35,027	17,094	17,933
					境町	4,054	23,603	11,233	12,370
行方郡	12,987	74,505	35,854	38,651	北相馬郡	10,683	56,322	27,362	28,960
麻生町	3,596	21,103	10,229	10,874	守谷町	2,150	11,913	5,797	6,116
牛堀町	1,222	7,090	3,418	3,672	取手町	4,454	21,933	10,742	11,191
潮来村	3,152	17,786	8,421	9,365	藤代町	2,326	12,809	6,130	6,679
北玉造町	2,177	12,955	6,218	6,737	利根町	1,753	9,667	4,693	4,974
	2,840	15,571	7,568	8,003					

毎月勤労統計調査結果速報

(昭和33年8月分)

労働省大臣官房労働統計調査部
茨 城 県

— 結 果 の 概 況 —

1. 賃金の推移

本月における産業別の給与状況について別表のとおりであるが、これによると鉱業、電気ガス水道業、金融保険業、運輸通信業、医療保健業は特に増加を示しており、この増加は生産高および取引の増加による。また一部夏期手当の支給により、その他の事業所については前月と殆んど変動がない。

2. 操業日数および労働時間

操業日数は前月に比し0.1日の減少を示し鉱業の21.7

日、繊維工業の2.3日、機械製造業の24.1日の操業日数は特に減少し、また労働時間についても一般に減少の実情にあることは生産高および操業日数等の影響によるものと思われる。

3. 雇用の傾向

全産業の本月における労働者数は78,439人で前月の78,995人に比し581人の減少度の低調を示しており異動による生産高の実情が目目されると思う。

(別表) 産業別常用労働者一人平均月間現金給与額

産 業 別	現金給与総額		きまつて支給する給与		特別に支払われた給与	
	本 月	対前月差	本 月	対 前 月	本 月	対前月差
総 数	18,151	+ 30	15,613	- 35	2,538	- 65
D 鉱 業	29,453	- 9,749	16,258	- 1,142	13,195	+ 12,053
E 建 設 業	12,540	- 221	12,408	+ 943	132	- 1,164
F 製 造 業	15,581	+ 167	15,042	+ 109	539	- 1,779
18 食 料 品 工 業	12,419	- 492	10,815	+ 88	1,604	+ 404
20 織 維 工 業	9,920	+ 1,335	7,354	- 777	2,566	+ 2,112
30 窯業土石製品製造業	15,441	- 13,505	15,441	- 1,234	—	12,272
34 機 械 製 造 業	11,415	+ 243	11,415	+ 409	—	163
35 電気機械器具製造業	16,830	+ 105	16,774	+ 467	56	362
39 そ の 他 の 製 造 業	12,706	- 1,354	12,625	- 11	92	- 1,343
G 卸 売 及 び 小 売 業	13,975	- 2,662	12,382	- 138	1,593	- 2,304
H 金 融 業	18,652	- 3,276	18,603	- 62	49	- 3,214
J 運 輸 通 信 業	17,783	- 3,249	17,716	+ 156	67	- 3,402
L88 医 療 保 健 業	17,609	- 179	17,373	+ 203	62	- 377

第1表 産業常用労働者の種類及び性別一人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の一人一日平均現金給与額 (規模30人以上) (単位円)

産 業 名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われた給与			臨時及び日雇労働者の一人平均現金給与額
	総数	男子	女子	総額	男子	女子	総数	男子	女子	
全 常 用 勞 働 者										
總 数	18,151	20,459	8,302	15,613	17,510	7,517	2,538	2,949	785	283
D 鉱 業	29,453	31,053	11,298	16,258	17,105	6,644	13,195	13,948	4,654	371
F 製 造 業	15,581	17,828	7,578	15,042	17,300	7,033	539	538	545	233
18 食 料 品 業	12,419	16,811	5,808	10,815	14,709	4,954	2,604	2,102	854	160
20 織 維 工 業	9,920	19,206	7,722	7,354	14,828	5,600	2,566	4,458	2,122	510
21 衣服その他繊維製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木材、木工製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化学工業製品	16,421	19,989	7,996	15,564	18,889	7,713	857	1,100	283	290
30 窯業土石製品	15,441	16,500	7,299	15,441	16,500	7,299	—	—	—	252
32 非金属製品	17,276	18,644	8,339	17,275	18,644	8,339	—	—	—	—
33 金属製品	11,001	11,581	7,204	11,001	11,581	7,204	—	—	—	438
34 機械製造	11,415	12,770	6,172	11,415	12,770	6,172	—	—	—	222
35 電気機械器具製造	16,830	18,833	7,659	16,774	18,767	7,646	56	66	13	324
19, 38, 39 その他の製造業	12,706	15,039	9,028	12,614	14,942	8,942	92	96	86	269
G 卸売及び小売業	13,975	16,554	7,712	12,382	14,796	6,520	1,593	1,758	1,192	320
H 金融保険業	18,652	22,309	11,491	18,603	22,236	11,490	49	73	1	—
J 運輸通信業	17,783	19,289	9,567	17,716	19,214	9,547	67	75	20	283
E 建設業	12,540	13,233	7,263	12,408	13,087	7,236	132	146	27	340
K 電気ガス水道業	26,775	27,804	16,552	26,775	27,804	16,552	—	—	—	—
L 医療保健業	17,435	26,490	12,087	17,373	26,402	12,040	62	88	47	247
生 産 勞 働 者										
D 鉱 業	27,799	28,867	11,226	16,114	16,757	6,142	11,685	12,110	5,084	—
F 製 造 業	12,903	14,659	7,117	12,386	14,175	6,489	517	484	628	—
18 食 料 品 業	10,474	14,293	5,486	9,163	12,623	4,644	1,311	1,670	842	—
20 織 維 工 業	8,099	13,547	7,522	6,031	11,373	5,465	2,068	2,174	2,057	—
21 衣服その他繊維製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木材、木工製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化学工業製品	13,747	17,056	7,353	12,906	15,842	7,233	841	1,214	120	—
30 窯業土石製品	14,722	15,535	6,705	14,722	15,535	6,705	—	—	—	—
32 非金属製品	14,732	15,617	7,864	14,732	15,617	7,864	—	—	—	—
33 金属製品	10,299	10,751	6,625	10,299	10,751	6,625	—	—	—	—
34 機械製造	9,910	10,883	5,852	9,910	10,883	5,852	—	—	—	—
35 電気機械器具製造	13,714	15,199	7,024	13,641	15,111	7,020	73	88	4	—
19, 38, 39 その他の製造業	10,814	12,348	8,750	10,773	12,336	8,670	41	12	80	—
E 建設業	10,343	10,966	6,341	10,343	10,966	6,341	—	—	—	—
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者										
D 鉱 業	39,696	47,114	11,427	17,146	19,665	7,547	22,550	27,449	3,880	371
F 製 造 業	22,163	25,219	8,981	21,570	24,557	8,687	593	662	294	233
18 食 料 品 業	20,214	24,554	7,947	17,436	21,123	7,015	2,778	3,431	932	160
20 織 維 工 業	18,18	23,413	10,200	13,745	17,313	7,273	4,973	6,100	2,927	510
21 衣服その他繊維製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木材、木工製品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化学工業製品	22,204	25,235	10,328	21,313	24,339	9,455	891	896	873	290
30 窯業土石製品	18,197	20,732	8,326	18,197	20,732	8,326	—	—	—	252
32 非金属製品	22,186	24,873	8,960	22,186	24,873	8,960	—	—	—	—
33 金属製品	16,415	19,824	8,790	16,415	19,824	8,790	—	—	—	438
34 機械製造	17,039	20,343	7,097	17,039	20,343	7,097	—	—	—	222
35 電気機械器具製造	22,950	25,677	8,912	22,726	25,654	7,883	24	23	29	324
19, 38, 39 その他の製造業	19,298	22,253	10,648	19,029	21,933	10,531	269	320	117	269
E 建設業	16,272	16,850	9,900	16,140	16,704	9,873	132	146	27	340

第2表 産業常用労働者の種類別及び性別一人平均月間実労働時間数及び出勤日数
(規模30人以上) (単位時間、日)

産 業 名	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出 勤 日 数		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
全 常 用 勞 働 者												
総 数	198.7	201.2	188.2	100.8	180.7	181.3	17.9	20.5	6.9	24.2	24.2	24.0
D 鉱 業	180.7	182.2	164.0	158.8	159.4	152.6	21.9	22.8	11.4	21.8	21.8	21.7
F 製 造 業	204.7	209.5	187.8	184.4	185.3	181.4	20.3	24.2	6.4	24.4	24.6	23.9
18 食 料 品 業	213.4	225.7	193.2	193.8	196.9	189.0	19.6	29.8	4.2	24.9	25.4	24.0
20 織 維 工 業	184.5	204.0	179.9	181.6	195.8	178.2	2.9	8.2	1.7	22.7	24.5	22.3
21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	218.4	224.3	204.1	193.2	193.0	193.5	25.2	31.3	10.6	25.7	25.7	25.8
30 窯 業 土 石 工 業	204.9	206.6	192.0	182.0	181.6	184.9	22.9	25.0	7.1	24.4	24.3	24.6
32 非 鉄 金 属 製 品 業	184.9	186.5	174.8	163.0	163.0	163.1	21.9	23.5	11.7	22.3	22.3	22.1
33 金 属 製 品 業	209.1	209.7	204.7	193.5	193.9	190.7	15.6	15.8	14.0	24.7	24.7	25.1
34 機 械 製 造 業	208.8	213.7	191.3	194.8	196.9	188.1	14.0	16.8	3.2	24.9	25.1	24.1
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	209.3	213.0	192.2	185.3	185.7	183.4	24.0	27.3	8.8	24.8	24.8	24.6
19.38.39 そ の 他	195.4	211.6	169.8	179.7	188.7	165.5	15.7	22.9	4.3	23.6	24.2	22.5
G 卸 売 及 び 小 売 業	209.0	208.3	211.0	192.9	187.6	205.8	16.1	20.7	5.2	26.0	25.8	26.4
H 金 融 保 險 業	184.4	182.6	188.1	174.8	174.2	176.1	9.6	8.4	12.0	25.2	25.2	25.3
J 運 輸 通 信 業	194.5	195.5	189.2	187.1	187.9	182.9	7.4	7.6	6.3	24.4	24.4	24.3
E 建 設 業	201.3	202.8	190.7	190.6	191.5	184.3	10.7	11.3	6.3	24.8	24.8	24.2
K 電 気 ガ ス 、 水 道 業	182.9	184.7	164.7	170.3	171.1	162.2	12.6	13.6	2.5	25.4	25.5	23.5
L 医 療 保 健 業	203.2	207.7	200.6	190.8	192.3	190.0	12.4	15.4	10.6	25.3	25.5	25.2
生 産 勞 働 者												
D 鉱 業	179.3	180.7	156.7	156.9	157.6	145.0	22.4	23.1	11.7	21.4	21.5	20.0
F 製 造 業	203.7	208.8	186.2	184.1	185.0	180.8	19.6	23.8	5.4	24.3	24.5	23.7
18 食 料 品 業	213.2	229.9	191.6	192.7	196.4	188.0	20.5	33.5	3.6	24.7	25.4	23.8
20 織 維 工 業	181.9	201.1	179.8	179.2	189.1	178.1	2.7	12.0	1.7	22.3	23.6	22.3
21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	222.9	232.8	203.7	193.4	193.5	193.2	29.5	39.3	10.5	25.7	25.6	25.7
30 窯 業 土 石 工 業	205.2	206.9	188.4	179.6	179.5	181.2	25.6	27.4	7.2	24.1	24.1	24.0
32 非 鉄 金 属 製 品 業	190.1	190.0	190.7	165.4	163.9	176.9	24.7	26.1	13.8	22.6	22.5	23.7
33 金 属 製 品 業	209.9	211.4	198.7	193.7	194.9	184.2	16.2	16.5	14.5	24.7	24.7	24.6
34 機 械 製 造 業	207.0	211.1	189.9	193.8	195.5	186.7	13.2	15.6	3.2	24.8	25.0	24.1
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	206.4	210.1	189.9	184.5	184.9	182.8	21.9	25.2	7.1	24.6	24.6	24.6
19.38.39 そ の 他	196.2	219.7	164.4	178.2	191.5	160.2	18.0	28.2	4.2	23.4	24.4	22.0
E 建 設 業	197.7	199.7	184.3	188.6	190.0	179.3	9.1	9.7	5.0	24.5	24.6	23.7
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者												
D 鉱 業	190.1	193.4	177.4	171.1	172.3	166.5	19.0	21.1	10.9	24.7	24.6	24.8
F 製 造 業	207.3	210.7	192.6	185.3	185.8	183.2	22.0	24.9	9.4	24.7	24.8	24.2
18 食 料 品 業	213.9	217.1	204.6	198.0	198.7	195.9	15.9	18.4	8.7	25.4	25.4	25.1
20 織 維 工 業	197.1	206.1	178.7	193.2	200.6	177.1	3.9	5.5	1.0	24.1	25.1	22.5
21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	208.7	209.5	205.5	192.7	192.3	194.4	16.0	17.2	11.1	25.8	25.8	25.9
30 窯 業 土 石 工 業	203.6	205.0	198.2	191.0	190.9	191.3	12.6	14.1	6.9	25.6	25.6	25.6
32 非 鉄 金 属 製 品 業	175.0	179.2	154.1	158.4	161.1	145.1	16.6	18.1	9.0	21.7	22.0	20.1
33 金 属 製 品 業	201.8	192.9	221.5	191.5	183.8	208.7	10.3	9.1	12.8	25.2	24.7	26.3
34 機 械 製 造 業	215.7	222.5	195.4	198.7	200.9	192.1	17.0	21.6	3.3	25.3	25.7	24.3
35 電 気 機 械 器 具 製 造 業	214.7	218.5	197.2	186.8	187.3	185.0	27.9	31.2	12.2	25.0	25.1	25.0
19.38.39 そ の 他	192.6	189.7	201.4	184.9	181.0	196.4	7.7	8.7	5.0	24.1	23.6	25.6
E 建 設 業	208.1	207.9	209.6	194.4	193.9	199.4	13.7	14.0	10.2	25.3	25.3	25.8

第3表 産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の月間推計延人員（規模80人以上）（単位、人）

前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及び日雇労働者の月間推計延人員
総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
78,995	63,897	15,098	878	718	160	1,434	975	456	78,439	63,640	14,799	53,432
12,736	11,704	1,032	132	124	8	241	223	18	12,627	11,605	1,022	8,332
45,352	35,298	10,054	339	260	79	816	472	344	44,875	35,086	9,789	12,720
2,569	1,531	1,038	16	15	1	54	13	41	2,526	1,528	998	1,385
1,865	352	1,513	15	2	13	136	20	116	1,744	334	1,410	302
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
853	598	255	12	12	—	7	6	1	858	604	254	283
1,674	1,480	194	9	9	—	16	13	3	1,667	1,476	181	306
4,288	3,721	567	47	38	9	47	43	4	4,288	3,716	572	—
1,072	930	142	26	21	5	26	21	5	1,072	930	142	388
3,419	2,723	696	59	39	20	84	71	13	3,394	2,691	703	54
21,926	17,962	3,964	98	80	18	339	208	131	21,685	17,834	3,851	853
2,269	1,389	880	20	11	9	51	31	20	2,238	1,369	869	774
4,353	3,084	1,269	14	7	7	39	27	12	4,328	3,064	1,264	493
2,161	1,432	729	20	11	9	62	42	20	2,119	1,401	718	—
9,513	8,027	1,486	69	46	23	108	56	52	9,474	8,017	1,457	6,156
3,434	3,040	394	260	226	34	162	149	13	3,532	3,117	415	25,731
1,446	1,312	134	44	44	—	6	6	—	1,484	1,350	134	—
3,451	1,288	2,163	57	9	48	14	6	8	3,494	1,291	2,203	781
10,974	10,309	665	111	108	3	222	210	12	10,863	10,207	656	—
32,281	24,689	7,592	244	195	49	878	375	303	31,847	24,509	7,338	—
2,056	1,154	902	15	14	1	45	10	35	2,026	1,158	868	—
1,553	150	1,403	15	2	13	131	15	116	1,437	137	1,300	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
582	382	200	12	12	—	6	5	1	588	389	199	—
1,328	1,205	123	7	7	—	12	10	2	1,323	1,202	121	—
2,816	2,497	319	30	22	8	12	11	1	2,834	2,508	326	—
946	842	104	16	16	—	10	10	—	952	848	104	—
2,712	2,188	524	33	29	4	83	71	12	2,662	2,146	516	—
14,396	11,750	2,646	66	56	10	287	175	112	14,175	11,631	2,544	—
1,761	1,012	749	19	10	9	39	25	14	1,741	997	744	—
2,172	1,881	291	242	211	31	101	92	9	2,313	2,000	313	—
1,762	1,395	367	21	16	5	19	13	6	1,764	1,398	366	—
13,071	10,609	2,462	95	65	30	138	97	41	13,028	10,577	2,451	—
513	377	136	1	1	—	9	3	6	505	375	130	—
312	202	110	—	—	—	5	5	—	307	197	110	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
271	216	55	—	—	—	1	1	—	270	215	55	—
346	275	71	2	2	—	4	3	1	344	274	70	—
1,472	1,224	248	17	16	1	35	32	3	1,454	1,208	246	—
126	88	38	10	5	5	16	11	5	120	82	38	—
707	535	172	26	10	16	1	—	1	732	545	187	—
7,530	6,212	1,318	32	24	8	52	33	19	7,510	6,203	1,307	—
508	377	131	1	1	—	12	6	6	497	372	125	—
1,262	1,159	103	18	15	3	61	57	4	1,219	1,117	102	—

毎月勤労統計調査結果速報

(昭和 33 年 9 月分)

労働省大臣官房労働統計調査部 茨 城 県

結 果 の 概 況

1. 平均賃金の推移

本月の「調査産業総数」の全常用労働者の 1 人平均「現金給与額」は16,334円で前月より 1,817円の減少にありこの「きまつて支給する給与」は 15,775円で162円の減少で「特別に支払われた給与」は559円で1,929円の減少となっておりますが、このことは人員構成の変化、生産の減少、操業日数の減少によることを表徴している。

2. 平均労働時間の推移

本月の「調査産業総数」の 1 人平均月間の出勤日数は 24.4日で前月より 0.2日の減少となり、その総労働時間は200.6時間で10.5時間の減少をみております。

減少内訳は所定内労働時間数で(－)11.6時間、所定

外労働時間で(+)1.1時間となっております。

3. 雇用傾向

本月の常用労働者数は78,440人で、うち男子63,546人女子14,894人となっておりますが、前月に比較して男351人女 204人の減少を示しておりますことは生産面において減少の傾向にあると思う。

4. 臨時日雇労働者の延人員および1人1日当り平均給与

本月の「調査産業総数」の臨時日雇労働者数は48,577円で前月より 4,855人の減少にあり、その 1 人 1 日の平均給与は349円である。

現 金 給 与 額

産 業 別	男	子	対 前 月 差	
			男	子
総 数 (16,334円)	18,277	8,004	- 2,182	- 298
鉱 業	17,733	6,990	-13,320	- 4,308
建 設 業	12,875	7,041	- 358	- 222
製 造 業	17,535	7,160	- 303	- 418
食 料 品 製 造 業	14,915	5,110	- 1,896	- 698
織 維 工 業	15,088	5,905	- 4,198	- 1,817
化 学 工 業	18,222	7,641	- 1,767	- 355
窯 業 土 石 製 品 製 造 業	18,743	8,397	+ 2,243	+ 1,098
非 鉄 金 属 製 造 業	18,763	8,435	+ 119	+ 16
金 属 製 品 製 造 業	11,093	7,220	- 488	+ 16
機 械 製 造 業	12,735	6,223	- 35	+ 51
電 気 機 械 器 具 製 造 業	18,969	7,700	+ 136	+ 41
卸 売 及 び 小 売 業	17,002	6,798	+ 448	- 914
金 融 保 険 業	39,592	18,873	+17,283	+ 7,382
運 輸 通 信 業	19,614	9,482	+ 325	- 85
電 気、ガ ス、水 道 業	27,073	16,008	- 731	- 544
医 療 保 健 業	26,759	11,842	+ 269	- 245

第1表 産業常用労働者の種類及び性別1人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額 (規模30人以上) (単位円)

産 業 名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われ た 給 与			臨時及び日雇 労働者の1人 平均現金給与 額
	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	総数	男子	女子	
全 常 用 勞 働 者										
總 数	16,334	18,277	8,004	15,775	17,690	7,574	559	587	430	349
D 鉱 業	16,866	17,733	6,990	16,603	17,462	6,819	263	271	171	339
F 製 造 業	15,264	17,535	7,166	15,225	17,494	7,130	39	41	33	318
18 食 料 品	11,044	14,915	5,110	10,737	14,593	4,825	307	322	285	322
20 織 維 工 業	7,703	15,088	5,905	7,703	15,088	5,905	—	—	—	329
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	15,097	18,222	7,641	15,097	18,222	7,641	—	—	—	245
30 窯 業 土 石 製 品	17,555	18,743	8,397	17,555	18,743	8,397	—	—	—	258
32 非 鉄 金 属 製 品	17,399	18,763	8,435	17,399	18,733	8,435	—	—	—	—
33 金 属 製 品	10,551	11,093	7,220	10,551	11,093	7,220	—	—	—	405
34 機 械 製 造 業	11,394	12,735	6,223	11,394	12,735	6,223	—	—	—	278
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	16,946	18,969	7,700	16,945	18,968	7,700	1	1	—	133
19.38.39 そ の 他	12,847	15,318	8,953	12,847	15,318	8,953	—	—	—	264
G 卸 売 及 び 小 売 業	14,017	17,002	6,798	12,292	14,710	6,444	1,725	2,292	354	214
H 金 融 保 險 業	32,544	39,592	18,873	18,721	22,417	11,552	13,823	17,775	7,321	—
J 運 輸 通 信 業	18,055	19,614	9,482	17,914	19,458	9,426	141	156	56	296
E 建 設 業	12,180	12,875	7,041	12,180	12,875	7,041	—	—	—	404
K 電 気 ガ ス 水 道 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L 医 療 保 健 業	17,376	26,759	11,842	17,376	26,759	11,842	—	—	—	246
生 産 勞 働 者										
D 鉱 業	16,768	17,427	6,497	16,505	17,156	6,326	263	271	171	—
F 製 造 業	12,648	14,460	6,661	12,615	14,428	6,627	33	32	34	—
18 食 料 品	9,352	12,796	4,768	9,057	12,497	4,478	295	299	290	—
20 織 維 工 業	6,405	11,883	5,793	6,405	11,883	5,793	—	—	—	—
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	12,544	15,260	7,197	12,540	15,260	7,197	—	—	—	—
30 窯 業 土 石 製 品	16,653	17,562	7,620	16,653	17,562	7,620	—	—	—	—
32 非 鉄 金 属 製 品	14,868	15,750	7,988	14,868	15,750	7,988	—	—	—	—
33 金 属 製 品	9,813	10,210	6,839	9,813	10,210	6,839	—	—	—	—
34 機 械 製 造 業	9,968	10,937	5,937	9,968	10,937	5,937	—	—	—	—
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	13,917	15,421	7,191	13,916	15,420	7,191	1	1	—	—
19.38.39 そ の 他	11,037	12,856	8,602	11,037	12,856	8,602	—	—	—	—
E 建 設 業	9,799	10,436	5,832	9,799	10,436	5,832	—	—	—	—
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者										
D 鉱 業	11,211	19,689	7,703	17,211	19,689	7,703	—	—	—	—
F 製 造 業	21,596	24,559	8,688	21,541	24,498	8,658	55	61	30	—
18 食 料 品	17,819	21,438	7,389	17,463	21,046	7,137	356	392	252	—
20 織 維 工 業	13,901	17,447	7,280	13,901	17,447	7,280	—	—	—	—
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	20,626	23,555	9,225	20,626	23,555	9,225	—	—	—	—
30 窯 業 土 石 製 品	21,022	23,927	9,730	21,022	23,927	9,730	—	—	—	—
32 非 鉄 金 属 製 品	22,350	25,040	9,027	22,350	25,040	9,027	—	—	—	—
33 金 属 製 品	16,408	20,146	8,342	16,408	20,146	8,342	—	—	—	—
34 機 械 製 造 業	16,481	19,621	7,016	16,481	19,621	7,016	—	—	—	—
35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業	22,582	25,494	8,698	22,582	25,494	8,698	—	—	—	—
19.38.39 そ の 他	19,264	21,973	11,094	19,264	21,973	11,094	—	—	—	—
E 建 設 業	16,641	17,169	10,812	16,641	17,169	10,812	—	—	—	—

第2表 産業常用労働者の種類及び性別1人平均月間実労働時間数及び出勤日数
(規模30人以上) (単位時間、日)

産 業 名	総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出 勤 日 数		
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子
全 常 用 勞 働 者												
總 数	200.6	203.0	190.4	182.7	182.6	183.1	17.9	20.4	7.3	24.4	24.4	24.2
D 鉱 業	194.4	195.8	178.8	171.9	172.3	168.4	22.5	23.5	10.4	23.4	23.4	23.7
F 製 造 業	206.7	211.1	191.2	186.0	186.6	184.1	20.7	24.5	7.2	24.7	24.8	24.0
18 食 料 品	206.3	222.6	181.5	186.2	192.5	176.7	20.1	30.1	4.8	24.0	25.1	22.4
20 織 維 工 業	198.9	219.7	193.9	193.1	209.3	189.2	5.8	10.4	4.7	24.2	26.3	23.7
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	204.8	219.5	169.7	179.0	187.4	159.0	25.8	32.1	10.7	23.9	25.0	21.2
30 窯 業 土 石 製 品	214.3	215.3	207.5	189.7	188.5	199.3	24.6	26.8	8.2	26.1	26.1	26.3
32 非 鉄 金 製 品	200.5	201.8	192.0	178.9	178.9	178.5	21.6	22.9	13.5	24.5	24.5	24.5
33 金 属 製 品	197.5	194.8	213.7	178.7	176.2	193.9	18.8	18.6	19.8	23.1	22.8	24.6
34 機 械 製 造 業	211.5	214.7	199.1	196.7	196.9	196.1	14.8	17.8	3.0	25.1	25.1	25.2
35 電 氣 機 器 具 製 造 業	209.3	213.0	192.7	185.2	185.5	184.0	24.1	27.5	8.7	24.7	24.8	24.4
19.38.39 そ の 他	205.6	218.9	183.4	185.6	191.4	176.5	20.0	27.5	6.9	24.0	24.6	23.0
O 卸 売 及 び 小 売 業	187.7	194.2	206.2	189.5	184.9	200.8	8.2	9.3	5.4	25.6	25.4	26.0
H 金 融 保 險 業	187.0	184.2	192.6	174.8	172.9	178.6	12.2	11.3	14.0	25.5	25.5	25.7
J 運 輸 通 信 業	191.3	192.7	182.8	183.7	184.6	178.3	7.6	8.1	4.5	23.9	23.9	23.7
E 建 設 業	194.9	196.3	184.9	183.5	184.2	178.3	11.4	12.1	6.6	23.7	23.7	23.5
K 電 気、ガ ス、水 道 業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
L 医 療 保 健 業	199.7	202.5	198.0	186.8	187.0	186.7	12.9	15.5	11.3	24.8	24.9	24.8
生 産 勞 働 者												
D 鉱 業	193.9	194.9	177.3	170.3	176.0	165.6	23.6	24.3	11.7	23.0	23.0	22.8
F 製 造 業	204.7	209.6	188.7	184.5	185.2	182.2	20.2	24.4	6.5	24.4	24.6	23.7
18 食 料 品	204.8	224.5	178.5	183.7	190.7	174.3	21.1	33.8	4.2	23.7	24.9	22.0
20 織 維 工 業	197.1	228.5	193.6	191.3	214.6	188.7	5.8	13.9	4.9	24.0	27.2	23.6
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	200.2	222.7	156.2	171.9	185.5	145.2	28.2	37.2	11.0	23.0	24.8	19.4
30 窯 業 土 石 製 品	216.5	217.6	205.3	189.0	188.2	196.9	27.5	29.4	8.4	25.9	26.0	25.8
32 非 鉄 金 製 品	200.8	201.0	199.7	176.5	175.6	183.7	24.3	25.4	16.0	24.2	24.1	25.0
33 金 属 製 品	196.6	194.2	214.9	176.5	174.5	191.9	20.1	19.7	23.0	22.8	22.6	24.4
34 機 械 製 造 業	209.1	212.4	195.3	193.8	194.2	192.0	15.3	18.2	3.3	24.9	24.9	24.8
35 電 氣 機 器 具 製 造 業	206.0	209.7	189.6	183.9	184.2	182.5	22.1	25.5	7.1	24.5	24.6	24.2
19.38.39 そ の 他	207.3	227.4	180.5	185.8	195.0	173.5	21.5	32.4	7.0	24.0	24.9	22.6
E 建 設 業	188.2	190.0	177.7	178.5	179.5	172.8	9.7	10.5	4.9	23.1	23.1	22.9
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者												
D 鉱 業	197.5	201.7	181.3	182.0	184.2	173.4	15.5	17.5	7.9	25.7	25.8	25.3
F 製 造 業	211.7	214.6	199.1	189.8	189.8	189.8	21.9	24.8	9.3	25.2	25.3	25.0
18 食 料 品	212.6	216.5	201.1	196.5	198.0	192.1	16.1	18.5	9.0	25.2	25.4	24.6
20 織 維 工 業	207.5	213.3	196.7	202.0	205.4	195.6	5.5	7.9	1.1	25.2	25.7	24.4
21 衣 服 其 他 織 維 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22 木 材 木 工 製 品	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
26 化 学 工 業	214.8	213.9	218.1	194.4	190.8	208.3	20.4	23.1	9.8	25.8	25.3	27.5
30 窯 業 土 石 製 品	206.3	205.0	211.2	192.6	189.8	203.3	13.7	15.2	7.9	26.7	26.6	27.2
32 非 鉄 金 製 品	199.7	203.3	181.9	183.4	185.8	171.7	16.3	17.5	10.2	25.0	25.3	23.8
30 金 属 製 品	204.5	201.9	210.3	196.0	194.2	199.9	8.5	7.7	10.4	25.0	25.0	25.2
34 機 械 製 造 業	219.7	223.0	209.8	207.0	206.9	207.3	12.7	16.1	2.5	26.1	26.0	26.3
35 電 氣 機 器 具 製 造 業	215.5	219.1	198.8	187.7	187.9	187.0	27.8	31.2	11.8	25.1	25.1	24.7
19.38.39 そ の 他	197.5	196.3	201.1	185.0	181.9	194.4	12.5	14.4	6.7	24.1	23.7	25.4
E 建 設 業	207.6	207.7	207.6	192.9	192.7	195.6	14.7	15.0	12.0	25.0	24.9	25.4

第3表 産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の年月推計延人員（規模30人以上）（単位人）

前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及び日雇労働者の 月間推計延人員
総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
78,440	63,546	14,894	837	599	238	1,441	1,001	440	77,836	63,144	14,692	48,577
12,627	11,605	1,022	105	88	17	205	173	32	12,527	11,520	1,007	9,111
44,877	35,012	9,865	472	331	141	914	609	305	44,435	34,734	9,701	14,579
2,531	1,533	998	57	23	34	30	9	21	2,558	1,547	1,011	902
1,744	334	1,410	70	23	47	66	7	59	1,748	350	1,398	1,612
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
858	604	254	13	8	5	12	6	6	859	606	253	470
1,667	1,476	191	11	10	1	9	9	—	1,669	1,477	192	562
4,288	3,716	572	23	22	1	32	18	14	4,279	3,720	559	—
1,072	930	142	38	22	16	38	38	—	1,072	914	158	148
3,394	2,691	703	26	21	5	104	75	29	3,316	2,637	679	54
21,686	17,758	3,928	154	144	10	409	282	127	21,431	17,620	3,811	986
2,238	1,369	869	22	9	13	24	10	14	2,236	1,368	868	845
4,328	3,063	1,265	24	10	14	70	45	25	4,282	3,028	1,254	1,222
2,119	1,401	718	62	31	31	20	9	11	2,161	1,423	738	—
9,474	8,017	1,457	77	51	26	54	32	22	9,497	8,036	1,461	6,245
3,531	3,098	433	94	85	9	176	133	43	3,449	3,050	399	17,399
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3,494	1,300	2,194	58	14	44	23	8	15	3,529	1,306	2,223	654
10,863	16,207	652	105	88	17	193	166	27	10,775	10,129	646	—
31,810	24,407	7,403	368	242	126	786	545	241	31,392	24,104	7,288	—
2,027	1,158	869	45	16	29	27	7	20	2,045	1,167	878	—
1,437	137	1,300	65	18	47	52	2	50	1,450	153	1,297	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
588	389	199	9	6	3	11	6	5	586	389	197	—
1,323	1,202	121	10	10	—	9	9	—	1,324	1,203	121	—
2,834	2,508	326	20	20	—	20	12	8	2,834	2,516	318	—
952	848	104	38	22	16	38	38	—	952	832	120	—
2,662	2,146	516	12	8	4	95	75	20	2,579	2,079	500	—
14,137	11,528	2,609	113	107	6	340	242	98	13,910	11,393	2,517	—
1,741	997	744	18	6	12	10	2	8	1,749	1,001	748	—
2,313	1,982	331	83	76	7	158	119	39	2,238	1,939	299	—
1,764	1,398	366	—	—	—	12	7	5	1,752	1,391	361	—
13,067	10,605	2,462	104	89	15	128	64	54	13,043	10,630	2,413	—
504	375	129	12	7	5	3	2	1	513	380	133	—
307	197	110	5	5	—	14	5	9	298	197	101	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
270	215	55	4	2	2	1	—	1	273	217	56	—
344	274	70	1	—	1	—	—	—	345	274	71	—
1,454	1,208	246	3	2	1	12	6	6	1,445	1,204	241	—
120	82	38	—	—	—	—	—	—	120	82	38	—
732	545	187	14	13	1	9	—	9	737	558	179	—
7,549	6,230	1,319	41	37	4	69	40	29	7,521	6,227	1,294	—
497	372	125	4	3	1	14	8	6	487	367	120	—
13,067	10,605	2,462	104	89	15	128	64	54	13,043	10,630	2,413	—

生産動態調査

(統計課人口統計係)

繊維部門

(昭和33年9月分)

概況

織物

綿織物は生産高、引渡高とも前月より減少し、休業工場が2工場生じた。

絹織物は生産高、月末在庫高とも前月と殆ど同じであるが、製品売行不振の為引渡高は13%減少した。

メリヤス製品

メリヤス製品は前月不調だったが当月は好調に復し、生産高、引渡高とも増加し、月末在庫高が減少した。

その他

縫製品は作業服、乳児および子供服、既製服の生産高、および引渡高が増加しており、その他は減少している。

和、特紡は不況のため2工場廃棄し生産高、引渡高とも大巾な減少をみた。

(1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑繊維製品	縫製品	製綿
対象	2	17	2	9	3	14	11
操業	2	15	2	9	2	14	11
休止	—	2	—	—	1	—	—

(2) 生産および出荷状況

部門別	品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
			当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
紡	計	封度	12,570	42	13,000	34	500	53
	綿糸	〃	—	—	—	—	—	—
	落綿	糸	7,800	88	8,000	88	500	71
績	ビスコフ	糸	—	—	—	—	—	—
	特紡綿	糸	4,750	—	5,000	—	—	—
織	和紡	糸	—	—	—	—	—	—
	織物	計	402,960	95	418,398	93	216,982	94
	綿織物	〃	313,482	93	315,586	89	117,533	99
	絹織物	〃	22,745	101	24,023	87	52,853	97
	絹紡織物	〃	4,209	105	4,104	111	5,290	102
	和紡織物	〃	22,328	78	30,184	116	32,409	80
	特紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
	スフ織物	〃	—	—	—	—	—	—
	人絹織物	〃	—	—	—	—	—	—
	合成繊維織物	〃	40,196	119	44,501	114	8,897	67
メリヤス製品	メリヤス生地	封度	9,430	185	6,728	164	4,516	249
	製品	計	12,883	107	24,024	137	10,197	94
	肌着	〃	1,910	95	2,099	210	1,241	87
	外衣	〃	664	272	664	272	—	—
	手袋	〃	6,687	78	16,770	106	5,357	108
	靴下	〃	3,622	299	4,491	886	3,599	81
雑繊維製品	計	封度	1,181	146	1,921	148	1,618	87
	漁網	〃	561	140	993	176	794	93
	漁具	糸	620	151	928	126	824	82
	学校服	着	664	62	704	57	1,285	97
縫製品	作業服	〃	10,988	153	6,915	232	8,555	191
	制服	〃	3,126	43	3,126	43	—	—
	乳児および子供服	〃	1,578	143	1,799	260	1,502	90
	既成服	〃	2,350	116	2,953	127	1,636	108
	中衣、肌衣	点	26,181	76	26,287	103	46,238	100
製綿	中入綿	封度	59,986	140	55,916	143	24,140	120
	ふとん綿	〃	269,797	151	256,491	142	61,039	128

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

(昭和33年10月分)

概況

織物

綿織物は生産、出荷高とも前月と殆ど変りがない。休業中の一工場が廃業し、一工場が設備縮小により調査対象外となつた。

絹織物も生産、出荷高とも前月と殆ど同じである。

メリヤス製品

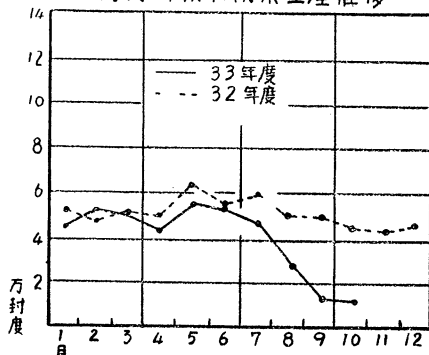
メリヤス製品は生産高が増加したが、出荷高は減少した。肌着は生産、出荷高とも増加しているが、在庫も増加しており、外衣、靴下は生産、出荷高ともに前月の約40~50%である。手袋は生産高が増加しているが、出荷高は減少している。

その他

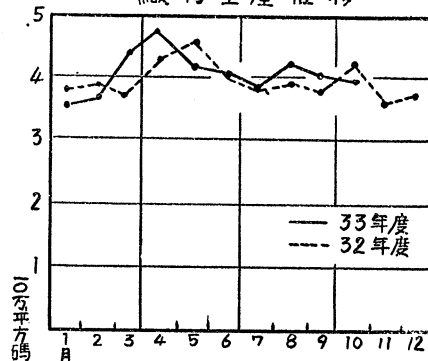
縫製品は制服、中衣、はだ着が生産、出荷高とも減少しているが、その他は、それぞれ大巾に増加している。

製綿は、生産、出荷高とも8月以降増加を続けているが、昨年同期に比べてはそれぞれ10%以上減少している。

持紡綿糸和紡糸生産推移



織物生産推移



(1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑繊維製品	縫製品	製綿
対象	2	15	295	10	3	14	11
操業	2	15	285	10	2	14	11
休止	--	--	10	--	1	--	--

(2) 生産および出荷状況

部門別	品目別	単位	生産高		引渡高		月末在庫高	
			当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
紡	計	封度	12,475	99	12,000	92	975	195
	綿糸	〃	—	—	—	—	—	—
績	落綿	糸	10,100	129	10,000	125	600	120
	ビスコフ	糸	—	—	—	—	—	—
織	特紡綿	糸	2,375	50	2,000	40	375	—
	和紡	糸	—	—	—	—	—	—
物	織物計	平方碼	395,840	98	413,757	99	197,181	91
	綿織物	〃	308,097	98	316,173	100	110,575	94
綿	絹織物	〃	22,821	100	24,841	103	50,833	96
	絹紡織物	〃	4,013	95	5,045	123	4,258	80
物	和紡織物	〃	17,907	80	23,602	78	23,233	72
	特紡織物	〃	—	—	—	—	—	—
物	スフ織物	〃	—	—	—	—	—	—
	人絹織物	〃	—	—	—	—	—	—
メリヤス製品	合成繊維織物	〃	43,002	107	44,096	99	8,282	93
	メリヤス生地	度封	9,476	100	15,243	227	14,549	322
メリヤス製品	製品計	打	15,559	121	16,912	70	9,204	90
	肌着	〃	3,760	197	3,080	147	2,201	177
メリヤス製品	外衣	〃	308	46	295	44	13	—
	手袋	〃	9,380	140	11,140	66	3,677	69
雑織雑製品	靴下	〃	2,111	58	2,397	53	3,313	92
	計	封度	1,573	133	1,699	88	1,899	117
雑織雑製品	漁網	〃	773	138	917	92	945	119
	漁具	糸	800	129	782	84	954	116
縫製	学校服	着	1,773	267	1,928	274	1,130	88
	作業服	〃	21,571	196	29,837	431	289	3
品	制服	〃	1,706	55	1,706	55	—	—
	乳児および子供服	〃	3,359	213	3,557	198	1,582	105
製	既成服	〃	3,058	130	4,411	149	1,783	109
	中衣・肌着	点	17,921	68	20,819	79	43,340	94
製	中入綿	封度	65,989	110	65,225	117	24,904	103
	ふとん綿	〃	272,985	101	263,732	103	70,292	115

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

機 械 部 門

(昭和33年9月分)

概 況

機械工業 機械工業全体の生産額は5月の40億を割る生産減より6月にいたり48億(22%増)と急激に回復し以降順調な生産が続いている。

業種別の生産額前月比を見るに金属製品および電気機械器具は余り変化なく一般産業用機械の90%増、農業用機械60%増と大巾に増加している。機械製造業は29%増である。

反面前月まで好調であつた輸送用機械器具が22%程減少を示している。従業者は7月以降毎月少数であるが減少の傾向にある。

機 械 工 業 (数量=1g、金額=千円)

33 金属製品製造業		洋食器、刃物、 332 手工具、一般金 物製造業		334 構築用金属 製品製造業		339 その他の金属 製品製造業		33 そ の 他		34 機械製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
41,196	8,933	9,845	5,231	29,592	2,514	1,759	1,188	—	—	3,595,770	1,793,539
										517,795個	622基
341 ボイラー原動機製造業		342 農業用機械製造業		344 金属加工機械製造業		346 特殊産業用機械製造業		347 一般産業用機械装置製造業		349 その他の機械、機械部分品製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
1,529,641	1,064,378	22,298	7,522	7,918個 143,278	54,163	24,319	10,178	1,868,624	634,232	509,877個 622基	14,016
34 そ の 他		35 電気機械器具製造業		351 発電用、送電用、配電用産業用電気機械器具製造業		352 民生用電気機械器具製造業		354 通信機械器具、同関連機械器具製造業			
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
7,610	9,050	106,275台 263,186個	3,228,785	74,345台 152,665個	2,591,385	29,378台 72,180個	465,332	2,046台 15,630個	74,813		
357 電気計測器製造業		35 そ の 他		36 輸送用機械器具製造業		361 自動車、同付属品製造業		363 自転車、リヤカー同部分品製造業		369 その他の輸送用機械器具製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
496台 22,711個	88,757	10台	8,500	345,866台 3両 8,762個	105,769	345,834台	16,621	5,720個	429	27台 3両	86,360
36 そ の 他		37 計量器、測定器、測量機械、理光学機械、光学機械、時計製造業		機械工業総数		対象事業所数		51		金額対比	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	事業所数	金額対比	前月	前年同月
—	—	3,042個 5台	2,359	3,636,966 789,743個 452,141台 622基	5,137,028	22,917	—	—	108.7	—	

※ 本表は下記の定義にもとづいたものである。

1. 分類方法は日本標準分類製造業Fによる。
2. 調査内容は生産動態統計調査規則機械品目表中にある工場従業員20名以上(超硬工具自転車工業10名作業員5名以上)を有するものを対象とした。

鑄物工業 生産額を総体的に見ると前月に比較し約10%程度減少している。

銅鑄物30%、その他銅鑄物65%と増加しているが上記以外は何れも低調である。

従業者は機械工業と同様7月以降毎月減少している。

鑄 物 工 業 (重量=kg、金額=千円)

品 目	鑄物総数		銑鉄鑄物		銅 鑄 物								アルミニウム鑄物	
					銅		青銅		黄銅		その他銅			
	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額
産業機械用器具	139,251	14,781	131,999	11,132	3,242	1,695	1,715	661	113	40	160	113	2,022	1,140
繊維機械用器具	1,173	110	1,173	110	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉄道・車輛用	132,967	20,941	110,490	10,406	282	134	20,828	9,577	—	—	—	—	1,367	824
電気・通信用	340,614	53,346	277,429	23,668	36,869	19,086	23,390	9,049	—	—	—	—	2,926	1,543
農器具用	96,416	9,066	96,410	9,063	—	—	—	—	—	—	—	—	6	3
港湾・船舶用	7,661	3,857	—	—	7,278	3,573	145	217	222	62	14	4	2	1
日用品用	3,164	181	3,164	181	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鑄型・鑄型用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
定盤・パレット用	9,560	2,774	—	—	—	—	5,930	1,685	3,630	1,089	—	—	—	—
軸受メタル用	4,339	3,254	—	—	—	—	4,339	2,732	—	—	—	531	—	—
管継手用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
建築用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
精密機器用	231	104	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	231	104
自動車用	2,100	770	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,100	770
その他の機械器具用	11,443	760	11,265	697	—	—	175	62	—	—	—	—	3	1
その他	5,740	395	5,679	364	—	—	—	—	53	26	—	—	8	5
計	754,659	110,339	637,609	55,621	47,671	24,488	56,522	23,974	4,018	1,217	174	648	8,665	4,391
対 比 前 月	85.4	91.7	83.9	87.0	123.5	129.7	86.6	82.1	38.1	36.2	19.1	164.9	97.5	95.8
対象事業所数	29		20		13								9	
事業所当該人員	17,503		17,310		17,194								16,931	

※本表は下記の定義にもとづいたものである。

1. 従業員が銑鉄鑄物は10名以上銅合金鑄物、軽合金鑄物は5名以上を有するものを対象とした。
2. 鑄物総数欄中対象事業所数および事業所当該人員は実数である。

(昭和33年10月分)

概 況

機械工業 機械工業全般の生産額は4月以降の最低を示し前6ヵ月平均55億円にたいし本月36億円(34%減少)と大巾に減少している。

これを業種別に見るとF33金属製品(前月比65.0%) F34機械(前月比55.8%) F35電気機械器具前月比(77.2%)と減少しており、わずかに F36輸送用機械器具前月比(128.9%) F37計量器、測定器、測量機械、医療機械、理化学機械、光学機械、時計製造業前月比(125.7%)といく分の増加があるのみである。

従業者については本年6月の23,736名を最高とし毎月減少し10月までに約3.6%程度少なくなっている。

機 械 工 業 (数量=kg、金額=千円33)

33 金属製品製造業		332 洋食器、刃物、手工具 一般金物製造業		334 構築用金属製品製造業		339 その他の金属製品製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
11,578	5,813	9,360	4,802	1,100	80	1,118	931
33 そ の 他		34 機械製造業		341 ボイラー原動機製造業		342 農業用機械製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
—	—	1,479,301 521,278個 564基	1,001,283	519,100	586,506	26,712	6,885
344 金属加工機械製造業		346 特殊産業用機械製造業		347 一般産業用機械装置製造業		349 その他の機械、機械部分品製造業	
7,336個 98,913	37,039	38,007	11,907	791,389	333,856	513,942個 564基	17,894
34 そ の 他		35 電気機械器具製造業		351 発電用、送電用、配電 産業用電気機械器具製造業		352 民生用電気機械器具製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
5,180	7,196	104,183台 236,598個	2,493,916	67,281台 63,482個	1,790,285	34,382台 33,866個	501,108
354 通信機械器具、同関連機 械器具製造業		357 電気計測器製造業		35 そ の 他		36 輸送用機械器具製造業	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
1,986台 15,068個	108,016	520台 24,182個	80,307	14台	14,200	439,542台 1両 5824個	136,429
361 自動車、同付属品製造業		363 自転車、リヤカー同部分 品製造業		369 その他の輸送用機械器 具製造業		36 そ の 他	
数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
439,489台	18,548	5,824個	452	53台 1両	117,429	—	—
37 計量器、測定器、測量機 械医療機械理光学機械、 光学機械、時計製造業		機械工業総数		対象事業所教		51	
数 量	金 額	数 量	金 額	事業所		金額対比	
5,634台	2,966	1,490,879 769,334個 543,725台 564基 1両	3,640,407	当該人員		70.8	
						前年同月	

※本表は下記の定義にもとづいたものである。

1. 分類方法は日本標準分類製造業Fによる。
2. 調査内容は生産動態統計調査規則機械品目表中にある工場で従業員20名以上(超硬工具自転車工業10名作業員5名以上)を有するものを対象とした。

鑄物工業 鑄物生産を総体的に見ると余り大きな変化はないが、アルミニウム鑄物については5月の生産額 360円を最低とし少額ではあるが毎月増加の一途をたどり10月分では5月に比し52%の増加である。

従業者は4月以降毎月減少している。(4月よりみると10月分では5%減少)

鑄 物 工 業

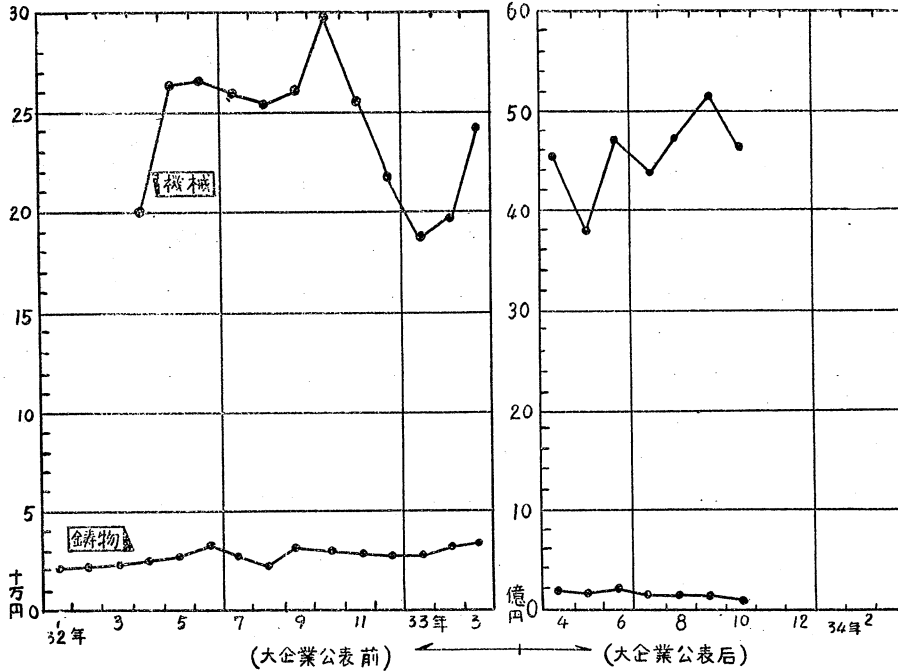
品 目	鑄物総数		鋳鉄鑄物		銅 鑄 物								アルミニウム鑄物	
					銅		青銅		黄銅		その他銅			
	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額	重量	金額
産業機械用器具	216,463	18,798	206,984	14,184	4,460	2,207	1,766	746	—	—	1,317	582	1,936	1,079
繊維機械用器具	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉄道・車輛用	54,141	15,468	26,129	2,400	560	270	26,004	11,787	—	—	—	—	1,448	1,011
電気・通信用	302,320	47,446	238,557	19,341	34,403	16,192	25,938	9,914	—	—	—	—	3,422	1,999
農器具用	223	96	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	223	96
漁器具用	67,533	9,647	56,700	4,480	9,910	4,800	641	223	—	—	8	4	274	140
港湾・船舶用	4,200	225	4,200	225	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日用品用	900	31	900	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鑄型・鑄型用	9,339	2,793	—	—	—	—	3,486	1,037	5,853	1,756	—	—	—	—
定益用	5,042	4,189	—	—	—	—	5,042	3,745	—	—	—	444	—	—
パコック用	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
軸受メタル用	2	1	—	—	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—
管継手用	328	131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	328	131
建築用	3,100	1,058	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,100	1,058
精密機具用	14,680	921	14,408	790	—	—	272	131	—	—	—	—	—	—
自動車用	6,618	356	6,618	356	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の機械器具用	684,889	101,160	554,496	41,807	49,333	23,469	63,151	27,584	5,853	1,756	1,325	1,030	10,731	5,514
計	90.7	91.6	86.9	75.1	103.4	95.8	111.7	115.0	145.6	144.2	761.4	158.9	123.8	125.5
対比前月														
対象事業所数		29		20								13		9
事業所当該人員		17,265		17,066								16,861		16,705

※本表は下記の前義にもとずいたものである。

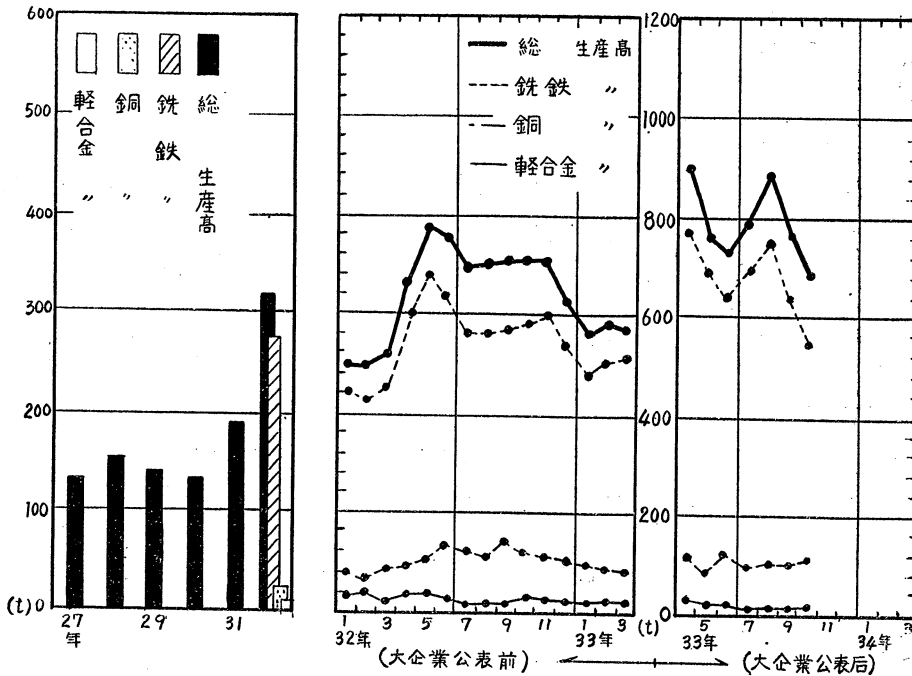
1. 従業者が鋳鉄鑄物は10名以上銅合金鑄物、軽合金鑄物は5名以上を有するものを対象とした。
2. 鑄物総数欄中対象事業所数および事業所当該人員は実数である。

【図表次頁参照】

生産金額の推移



鑄物生産高の推移



●●●●● 雑 貨 部 門 ●●●●●

(昭和33年9月分)

概 況

革靴 今月の生産数量は294足で前月に比べると10%の減であり、出荷数量は289足でわずか4%の減であった。
漆器 今月は生産数量2,605個で前月に比べると27%の増である。これを前年同月に比べれば157%になり、出荷においても13%と伸びている。
建築用コンクリートブロック 今月の生産数量は39,541個で前月に比べると88%となり12%の減であった。
陶磁器 今月の生産数量は175,109キログラムであり前月に比べると12%の増であった。これを前年同月と比較すれば31%の減であった。

業 種	製 品 名	区 分 位	生 産 数 量			出 荷 数 量			月 末 在 庫 数 量	事 業 所 数 (操業)
			数 量	前月対比 %	金 額 (千円)	数 量	前月対比 %	金 額 (千円)		
革 靴	総 数	足	294	90	752	289	96	793	510	5(5)
	男 子 総 革 靴	〃	223	89	611	220	102	644	246	
	婦 人 総 革 靴	〃	67	88	139	65	77	147	264	
	そ の 他 靴	〃	4	—	2	4	—	2	—	
漆 器	総 数	個	2,605	127	1,076	2,585	130	1,057	143	11(8)
	食 器 類	〃	400	—	12	400	—	12	—	
	容 器 類	〃	505	106	69	505	108	65	10	
	食卓子、膳盆類	〃	1,650	119	985	1,630	123	970	130	
	そ の 他	〃	50	25	10	50	25	10	3	
建 築 用 コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク	総 数	個	36,541	88	1,089	44,562	90	1,499	46,706	5(5)
	A種 { 基 本 型	〃	1,355	128	38	2,248	76	76	1,716	
	{ 異 型	〃	—	—	—	460	255	14	920	
	B種 { 基 本 型	〃	2,140	137	64	2,100	89	84	208	
	{ 異 型	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	C種 { 基 本 型	〃	19,455	104	635	20,319	87	738	23,084	
	{ 異 型	〃	3,565	79	110	4,476	154	167	8,575	
帳 壁 用 ブ ロ ッ ク	〃	8,506	57	197	14,419	85	399	11,223		
陶 磁 器	総 数	珎	175,109	112	19,267	147,642	87	19,189	135,841	17(6)
	電 気 用 品 { 特 別 高 圧 用 碍 子	〃	32,223	106	9,613	32,223	106	9,613	—	
	{ 高 圧 用 碍 子	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	{ 低 圧 用 碍 子	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	{ そ の 他	〃	6,144	125	8,179	6,204	128	8,349	20	
	家 庭 用 品	〃	117,420	133	1,202	87,783	95	929	131,391	
	衛 生 用 品	〃	18,000	56	186	20,000	50	198	1,100	
	が ん 具	〃	1,322	128	87	1,432	148	100	3,230	
そ の 他	〃	—	—	—	—	—	—	100		

※ 革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。

(昭和33年10月分)

概況

革靴

今月は生産3%、出荷1%の増加になっており、これを前年同月と比較すれば生産、出荷共に8%の増加を行っている。

漆器

今月の生産数量は1,912個で前月に比べると27%の減であった。これは、休業事業所が6工場あったからである。

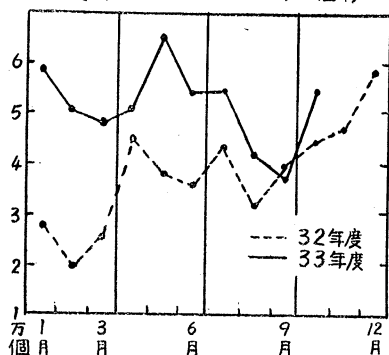
建築用コンクリートブロック

今月は生産47%出荷24%とそれぞれ増加しているが、これは、9月分の生産、出荷高が特に少なかったためであり、当月は旧に復したものである。

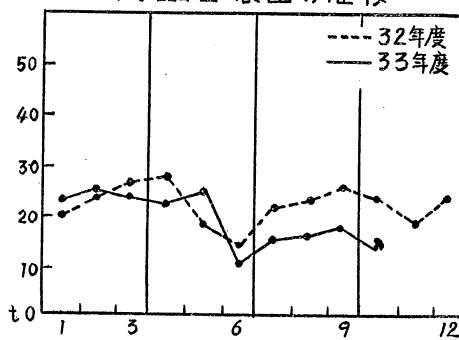
陶磁器

今月の生産数量は130,554キログラムであり、前月に比較すると25%減であった。

建築用コンクリートブロックの推移



陶磁器製品の推移



業種	区 製品名	単 位	生産数量			出荷数量			月末在 庫数量	事業所 数 (操業)
			数量	前月対比 %	金額 (千円)	数量	前月対比 %	金額 (千円)		
革靴	総数	足	303	103	817	291	101	805	522	5(5)
	男子総革靴	〃	232	104	662	221	100	643	257	
	婦人〃	〃	71	106	155	70	108	162	265	
	その他靴	〃	—	—	—	—	—	—	—	
漆器 (木製)	総数	個	1,912	73	1,027	1,932	75	1,036	123	11(5)
	食器類	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	容器類	〃	460	91	75	460	91	75	10	
	食卓用膳盆類 その他	〃	1,452	88	952	1,472	90	934	110	
建築用 コンクリート ブロック	総数	個	53,774	147	1,553	55,187	124	1,746	45,793	5(4)
	A種 { 基本型	〃	4,846	357	132	3,885	173	132	2,677	
	A種 { 異型	〃	960	—	29	375	82	11	1,505	
	B種 { 基本型	〃	—	—	—	—	—	—	208	
	B種 { 異型	〃	—	—	—	—	—	—	980	
	C種 { 基本型	〃	18,683	96	630	22,676	112	793	19,091	
	C種 { 異型	〃	1,258	35	43	4,307	96	154	5,526	
帳壁用	〃	28,027	329	719	23,944	166	656	15,806		
陶磁器	総数	疋	130,554	75	19,878	142,521	97	20,132	90,114	17(4)
	特別高圧用碍子	〃	25,781	80	8,704	25,781	80	8,704	—	
	電気用 { 高圧用碍子	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	電気用 { 低圧用碍子	〃	—	—	—	—	—	—	—	
	その他	〃	7,964	130	10,162	7,984	129	10,214	—	
	家庭用品	〃	73,190	62	755	84,142	96	931	86,679	
	衛生用品	〃	23,000	127	226	24,000	120	232	100	
	がらん具 その他	〃	619	47	31	614	43	51	3,235	
〃	〃	—	—	—	—	—	—	100		

※革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロックは全事業所である。

茨 城 県 鋁 工

昭和 33 年 8 月 分

概 況

今月の生産指数は前月に比べると総合において8%増、鋁業においては11%減、製造工業では11%の増である。

うち主に増加したのは、一般機械工業46%、輸送用機械工業77%、石油石炭製品業66%、製材業20%であり、これと反対に減じたものは石炭鋁業18%、金属製品工業76%、その他の工業37%であった。

茨 城 県 鋁 工 業 生 産 指

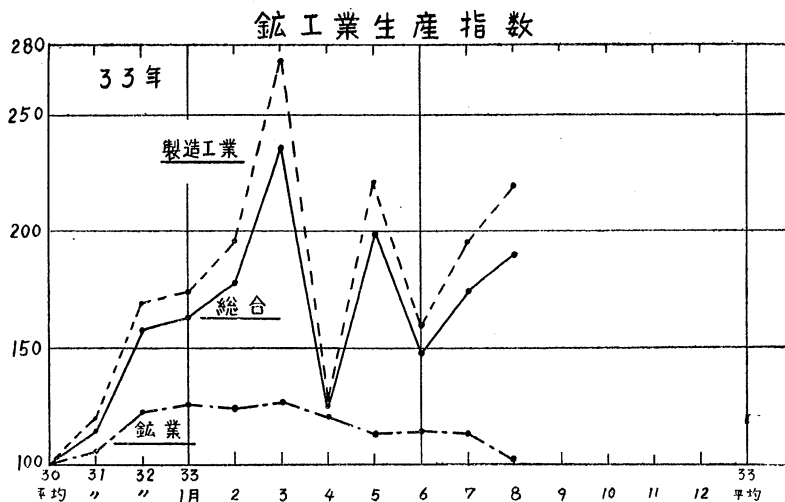
年 月		分 類	鋁 工 業 合		鋁 業			
			鋁 総	業 合	石 炭 鋁 業	金 属 鋁 業	非 金 属 鋁 業	
ウ	エ	イ	ト	100.00	25.17	67.64	30.22	2.14
昭	和	31	年	115.34	106.05	107.00	103.19	117.00
平	平	32	年	156.54	122.48	125.00	114.95	149.00
平	平	32	年	157.88	110.49	107.00	115.88	145.00
6	6	33	年	147.38	114.60	116.00	111.57	113.00
4	4	33	年	175.56	114.40	117.00	106.67	141.00
5	5	33	年	190.21	101.49	99.00	104.93	132.00
6	6	33	年					

年 月		分 類	輸送用機械工業	精密機械工業	窯 業	化学工業	石油、石炭製品業	
			ウ	エ	イ	ト	5.55	0.75
昭	和	31	年	322.02	132.49	126.77	119.26	93.00
平	平	32	年	58.98	148.07	156.91	122.53	102.00
平	平	32	年	297.93	94.53	139.66	134.07	82.00
6	6	33	年	11.94	23.04	123.49	135.45	72.00
4	4	33	年	179.59	154.16	151.39	152.80	31.00
5	5	33	年	789.64	129.91	145.85	142.95	92.00
6	6	33	年					

業 生 産 指 数

(昭和30年基準)

(統計課商工統計係)



数 表 (総 合) 昭 和 30 年 基 準

製 造 工 業	鉄 鋼 業	非鉄金属工業	金属製品工業	一般機械工業	電気機械工業
74.83	1.55	11.86	4.38	12.50	27.96
118.50	156.31	109.79	29.29	57.43	115.90
168.00	212.13	140.07	130.12	98.00	292.45
173.82	255.73	130.65	301.26	102.97	272.05
158.41	179.56	101.19	258.73	120.65	299.03
196.14	163.36	98.89	888.19	106.99	299.95
220.04	141.42	97.52	218.52	198.96	333.47

皮 革 工 業	紙、パルプ工業	織 維 工 業	製 材	食 料 品 工 業	そ の 他 の 工 業
0.28	1.07	3.35	3.17	14.86	1.04
131.73	152.74	188.62	128.00	105.01	88.00
125.57	163.10	130.46	118.00	105.40	92.00
140.29	149.65	154.19	100.00	50.54	125.00
119.48	65.32	123.94	96.00	63.49	81.00
125.80	69.53	123.01	77.00	61.34	81.00
141.66	71.32	135.46	96.00	52.49	51.00

閲覧室



いろいろの統計資料が あなたの利用を待っています

閲覧室 茨城県総務部統計課内
閲覧時間 毎月曜～金曜 午前8時半～午後5時
毎土曜 午前8時半～正午
閲覧はどなたでも自由です。

◎学校基本調査報告書 昭和32年度 文 部 省

これは昭和23年度以降統計法による指定統計として、全国の学校について、学校数とか、教員数、生徒数、学校の施設、学校の経費等基本的事項を調査する、学校基本調査の32年度の報告書です。国の将来をはかる教育の現況を本書によつて分析することもまた意味のあることだと思います。

◎鐵 道 要 覽 昭和32年度 水 戸 鉄 道 管 理 局

この要覧には、水戸鉄道管理局管内のあらゆる鉄道に関する資料がおさめられています。私たちに親しい鉄道について、本書は色々のことを教えてくれます。

◎織 維 統 計 年 報 昭和32年 通商産業大臣官房調査統計部

本書は、生産動態統計調査および繊維流通統計調査によつて、収集、集計、分析された繊維の生産、出荷、在庫、需給等の統計を中心に編集されており、昭和32年における繊維業界の赤裸々な姿をあらわしています。

毎月統計課に到着する月報類

労働力調査報告	総 理 府 統 計 局
個人商工業経済調査結果速報	〃
人口推計月報	〃
家計調査報告	〃
小売物価統計調査報告	〃
石炭鉱業統計情報	東京通商産業局平石炭支局
専売統計月報	日本専売公社水戸地方局
コンクリートブロック	日本コンクリートブロック協会
農林水産統計月報	農林省農林経済局統計調査部
東京郵政統計月報	東 京 郵 政 局

労働経済指標	労働大臣官房労働統計調査課
毎月勤労統計調査結果速報	〃
漁村経済	全国漁業協同組合連合会
建築動態統計月報	建設省大臣官房
経済統計月報	日本銀行統計局
鉄道車両等生産動態統計月報	運輸省鉄道監督局車両工業課
通産統計月報	通商産業大臣官房調査統計部
織 械 〃	〃
織 維 〃	〃
皮 革 〃	〃
日 用 品 〃	〃
建 材 〃	〃
ゴ ム 〃	〃
窯 業 〃	〃
百貨店販売〃	〃
出荷在庫統計速報	〃
生産 〃	〃

.....
 編 集 室

◎今年の秋も無事終つたようだ。「無事是貴人」とは、ある家の床の間に掛つていた軸の言葉だが、この頃無事なのは自然の移ろいばかりで、人の社会は、せつかくの美術の秋、芸術の秋も政治に圧倒された感がある。

◎立法の趣旨を理解し、その趣旨にのつとつて法を運営することは大変むづかしい。これは知性を必要とする仕事だ。大衆の愚劣さということを夢声老がいつたように思うが、法を行う者が群集の興奮の中で、血の通わない法文の権力ばかりを振り回しては、大変なこと

になる。警職法のむづかしさもそんな所であろうか。

◎数年前「物の見方について」という本が非常に売れた。統計を扱っている者はよく物事を統計的に見る。警察官には、それが事件になるかならないかといった物の見方があるそうだ。いわゆるデツチ上げの危険がそこにある。

◎統計人にとって、統計数字はいわば法律のようなものだ。数字には息が通い、その見方によつて、安全と危険はうらはらに存在する。